

Owltech 保証書

1. 保証について

- 保証書は記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日より1年間です。
- 本製品の保証は、日本国内での使用に限ります。
- 開梱直後に故障または不具合が発生した場合は、販売店捺印のある本保証書か、それに代わるレシート、または納品書等をご用意の上、販売店または弊社サポートセンターへお問い合わせ下さい。
- 以下保証規定に従った内容で無償修理または交換いたします。保証期間経過後の修理に関しましては有償修理または有償交換となります。

2. 保証規定

この保証書は正しい使用方法に従った上で起きた故障で、保証期間内であることが認められた場合に限り、無償で修理または交換を保証するものです。また適用範囲は本体のみであり、シガープラグコードなどの付属品は保証の対象外となります。保証期間内であっても次の各項に該当する場合は、保証対象外または有償対応となります。

- 使用上又は取付け時の誤り及び当社以外での修理、調整、改造による故障及び損傷。
- ご購入後の落下、不適当な取付けなど、自損や不当な取り扱いによる故障及び損傷。
- 火災・地震・落雷・水害・その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- 故障の原因が本製品以外（他の電子機器など）にあって、それを点検修理した場合。
- 本保証書のご提示が無い場合及び本保証書に購入年月日・お客様名・販売店名の記載が無い場合。
- 本保証書に記入された事項を許可無く書き換えた場合。
- 機能上問題の無い小傷、液晶画面のドット抜け、及び箱などの軽微な傷や潰れ等。
- 製品を使用できなかった事の対価、取外しや販売店への搬送など直接或いは間接的に発生する手間等の対価。
- 高温・高湿度環境下での使用及び、ほこりやごみの付着・虫などの侵入を原因とする故障など。
- オークション、中古販売及び譲渡等により本製品を入手した場合など。

品名/型番	ドライブレコーダー / OWL-DR06-BK	
ご購入年月日	年 月 日	
保証期間	ご購入日より1年間	
保証対象	本体	
お客様	ご氏名	
	ご住所	〒 _____
	電話番号	TEL: () _____
販売店	販売店印・レシート添付欄	
		印

- *本保証書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
 *本書は、本記載内容で無償修理・交換をさせていただくことをお約束するものです。本保証書にご購入店の捺印が無い場合は購入レシート等で代用可能ですので、必ずレシートは本保証書と一緒に大切に保管して下さい。



株式会社オウルテック

〒243-0422 神奈川県海老名市中新田5-24-1

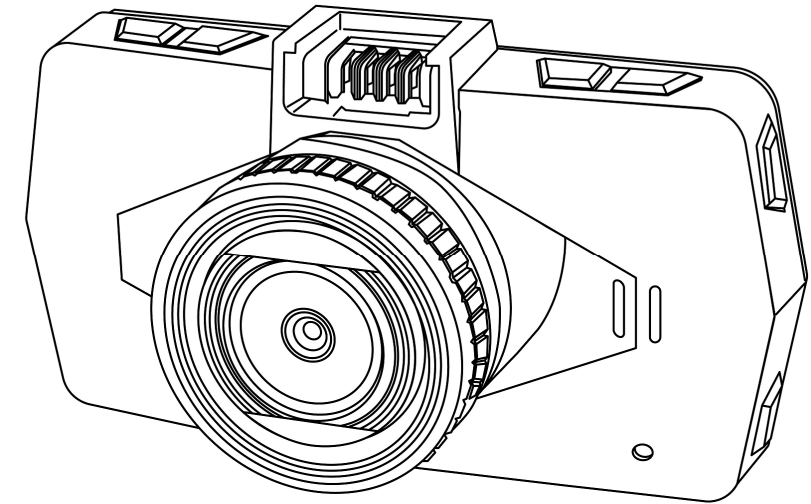
Webサイト: <http://www.owltech.co.jp>Web内のメールフォームよりお問合せ下さい
保証適用の際は購入履歴が必要となります。

☎046-236-3522 平日10時~12時/13時~18時

MCA01-0009-00

ドライブレコーダー OWL-DR06-BK 取扱説明書 【保証書付】

このたびは弊社ドライブレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本説明書をご一読ください。また本説明書の末尾に保証書が付いておりますので、ご購入された年月日が特定できるレシートなどと共に、紛失しないよう大切に保管して下さい。



特徴

- 本製品はスーパーHD (2304 × 1296p) の超高解像度と、F1.8の明るいレンズを搭載することで、夜でも明るくノイズの少ない鮮明な映像を記録することができます。
- GPS対応で日付・時刻の設定が不要です。また走行軌跡を残すことができます。
- Gセンサーを搭載し、衝撃時の映像を上書き禁止ファイルとして記録します。
- WDR (ワイドダイナミックレンジ) 技術で、逆光やトンネル出入り口など明暗差の大きなシーンでも最適な露出で撮影できます。
- LED信号機消滅問題対策済みです。日本全国どこでも安心してご使用できます。
- 地デジ放送妨害対策済みです。地デジ放送に影響を与えないノイズ対策を行っています。
- 録画開始を音でお知らせし、画面を見ずに録画開始がわかります。
- どんな時も録り逃がさない「無操作時オート録画機能」搭載で録り逃がしを防止します。
- 録画時にドライブ中の音声は録音をせず、事故時など衝撃を検出したときだけ音声録音を行う「プライバシーオート録音機能」搭載で、プライバシーを守りつつ肝心な事故時の音は逃しません。
- 駐車監視用に内蔵バッテリーで動作する振動検出機能を搭載。最大5日程度の監視を行います。
- ドライブレコーダー本来の機能を追求し、必要機能を充実させつつメニューをシンプルにすることで操作性が向上しています。



⚠️ もしも事故が発生した場合




事故の程度に関わらず、事故発生時は記録されたデータが上書きされないように、必ずメモリーカードを抜いて保管及び、データのバックアップを行ってください。メモリーカードを抜き取る際は、必ず本製品の電源をオフの状態で行ってください。電源オンのまま抜き出すとデータ消失の恐れがあります。

はじめに

- 付属品をご確認ください。(準備ページの内容をご確認ください。)
- 本製品および本説明書は予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。最新の情報は弊社Webサイト (<http://www.owltech.co.jp>) を参照してください。本説明書に掲載している画面やイラスト・写真などは、実際の製品と異なる場合があります。
- 本説明書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一不明の点や誤りなどお気づきのことがございましたら当社サポートセンターに連絡ください。
- 万一本製品使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、弊社では一切その責任を負いません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による損害および逸失利益等につきましては、弊社では一切その責任を負いません。
- 本製品を使用する前に必ず試し撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本説明書の一部または全部を無断で使用・複製・転載することはしないでください。
- 本説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。本説明書ではTM および®マークは明記しておりません。
- ご使用前に「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

 警告	誤った取扱いをすると「人が死亡するまたは重症を負うなどの可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると「人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示しています。

	製品の取扱いにおいて注意を促す記号です。
	製品の取扱いにおいて行為を禁止する記号です。
	製品の取扱いにおいて行為を強制指示する記号です。

警告


- 濡れた手で本製品およびアダプタやコネクタに触れないで下さい。
- 本製品を使用中に発火、過剰な発熱、発煙、異臭などの異常が発生した場合、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店もしくは弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。
- 本製品を使用中に水や液体が入った場合は直ちにケーブル類を抜き使用を中止してください。
- 本体の分解や改造は絶対に行わないでください。ショートして火災や感電、故障や事故の原因になることがあります。
- 車両への取付けは、必ず本説明書手順に従って取り付けてください。誤って取付けると、道路運送車両法違反となるばかりか交通事故やけがの原因となります。
- 走行中は運転者による操作や画面の注視は避けてください。マニュアル録画する際は、周囲の安全を十分に確認した上で、素早く操作してください。
- 内蔵リチウムイオン電池が液漏れしたり、異臭がする場合はただちに使用を中止し火気より遠ざけてください。
- 乳幼児の手の届く場所での使用や保管はしないでください。ケーブルが首などに巻きついたり、小さな部品を誤飲するなど、事故や傷害の原因になります。特にマイクロSDカードの取扱いには十分ご注意ください。

9 仕様

製品名	OWL-DR06-BK	
外形寸法 (本体)	88 (W) x 36 (D) x 48 (H) mm	
本体重量	74g	
カメラ	映像素子	1/3 インチ CMOS センサー
	画素数	310 万画素
	レンズ F 値	F1.8
	視野角	対角 135° (水平 : 113° / 垂直 : 60°)
記録メディア	マイクロ SD カード 64GB まで対応 (Class10 以上) 16GB 付属	
記録解像度	動 画	2304x1296p (SHD), 1920x1080p (FHD), 1280x720p (HD)
	静止画	3M, 1.2M
LCD 画面	サイズ	2.7 インチ TFT 液晶
記録方式	動 画	MOV (H.264)
	静止画	JPEG
フレームレート	27.5fps	
映像・音声出力	HDMI Mini Type C 端子 (ケーブルは付属していません)	
本体電源入力	ミニ USB (5V, 1A)	
シガープラグコード	12V/24V 入力 (マイナスアース), 5V 1A 出力 長さ 4m	
GPS 内蔵ブラケット	GPS アンテナ内蔵, 電源入力 : ミニ USB (5V, 1A)	
内蔵バッテリー	種類・容量	リチウムイオン充電電池, 130mAh
	動作時間	録画時 約 15 分, 振動検出録画モード 待機時間 最大 5 日
動作温度範囲	-10℃ ~ 50℃	
その他	LED 信号機消滅問題対策済み 地デジ妨害対策実施済み	

マイクロ SD カードの容量に対する録画時間の目安を示します。

	記録サイズ	16GB	32GB	64GB
SHD	2304 x 1296	約 120 分	約 240 分	約 480 分
FHD	1920 x 1080	約 120 分	約 240 分	約 480 分
HD	1280 x 720	約 240 分	約 480 分	約 960 分

 記録時間は目安であり保証するものではありません。常時録画は、上記時間 (目安) の約 50% を超えると古いファイルから上書きし、ループ記録を行います。

8.11 LCD画面がしばらくすると消えてしまう

- LCD省電力が有効の場合、録画中に設定時間が経過すると画面が消えます。LCD画面を常に表示したい場合は、LCD省電力をオフにしてください。

⚠注意

- 火気のそばでの使用や保管はしないでください。本体の変形や故障の原因になります。
- コネクタやシガーソケットに汚れやほこりが付いている場合は、乾いた布でよく拭き取ってから使用してください。火災や故障の原因になります。
- コネクタやシガーソケットに無理やり押し込まないでください。コネクタの破損やショートの原因となります。
- 本製品を無理に引っ張ったり、折り曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。また、強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。故障の原因になります。
- 本体およびシガープラグコードは、エアバッグの妨げにならないように取り付けてください。
- ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。
- 駐車時などエンジン停止（ACC=オフ）時にシガーソケットに電源が供給される車で使用する場合は、エンジン停止（ACC=オフ）時には必ずシガープラグコードを抜いてください。
- 本製品は日本国内での使用を目的として販売しており、日本国外でのご使用は保証対象外となります。
- 本製品付属のシガープラグコードは本製品専用です。弊社他製品・他社製品では使用しないでください。また弊社他製品・他社製品のシガープラグコードを本製品で使用しないでください。

○使用上のご注意

- 本製品に水などの液体をかけたりしないでください。また濡れた手で本製品を取り扱わないでください。
- 本製品の端子など金属部分に触れないでください。接触不良の原因になります。
- マイクロSDカードを挿入する場合は、正しいコネクタの向きに水平に接続してください。誤った向きに挿入すると、故障や破損の原因になります。
- 取付け口SDカードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行って下さい。マイクロSDカードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。
- マイクロSDカードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。また長時間記録を繰り返すと不良セクタが増え記録できなくなることがありますので、一か月に一度を目安に定期的にフォーマットを行ってください。
- 本製品を使用中にマイクロSDカードのデータが消失しても、データの保証について弊社は一切責任を負いません。
- 本製品のケーブルの被覆が破れたり、コネクタがぐらついたりするなどの異常がある場合には使用を中止してください。
- LCD（液晶）画面は、画面の一部にドット抜け（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）が見えることがあります。これらは、LCDの特性によるものであり、故障ではありません。
- コネクタやシガーソケットに汚れやほこりが付いた場合は、乾いた布で拭き取ってから使用してください。火災や故障の原因になります。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に対する補償や、接続した機器などに対する保証は一切いたしかねます。
- 皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を止め、皮膚科専門医にご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹など生じる場合があります。
- 製品の仕様、デザイン、および本説明書の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。
- 本製品はすべての状況において映像を記録することを保証したものではありません。
- 本製品の故障や本製品使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。それにより発生する損害について弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の近くにGPS機能を持つ製品を設置しないで下さい。誤作動を起こす可能性があります。
- 地デジ等のTVのアンテナの近くに設置しないでください。TVの受信感度が低下する可能性があります。
- 本製品をいたずらなどの本来の目的以外で使用すると個人情報保護法に抵触する恐れやプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。これらについて弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の取付けによる車両の変色、変形については弊社では一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内専用です。海外では使用しないでください。

内容

特徴	1
はじめに	2
安全上のご注意（必ずお守りください）	2
使用上のご注意	3
1 準備	5
1.1 パッケージ内容	5
1.2 各部の名称	6
1.3 各部の説明	7
1.4 マイクロ SD カードの取付け／取外し	8
1.5 本体の取付け	9
1.6 シガープラグコードの接続と配線	12
1.7 電源と内蔵バッテリーについて	13
1.8 電源のオン／オフ	14
1.9 動作モード	14
1.10 日時の設定	15
1.11 マイクロ SD カードのフォーマット	16
2 録画する	17
2.1 動画モードについて	17
2.2 録画時間の目安	17
2.3 動画モード画面表示	18
2.4 常時録画	19
2.5 緊急録画（衝撃検出時）	19
2.6 保護録画（手動）	20
2.7 マニュアル録画	20
2.8 動体検出録画	20
2.9 振動検出録画	21
2.10 プライバシーオート録音	22
2.11 無操作時オート録画	23
3 写真を撮る	24
3.1 静止画モード	24
3.2 撮影枚数の目安	24
3.3 静止画撮影	24
3.4 スナップショット	24
4 再生する	25

4.1 本製品での再生	25
4.2 動画再生モード画面表示	25
4.3 静止画再生モード表示画面	26
4.4 テレビ（モニター）での再生	27
4.5 パソコンでの再生	28
4.6 ビューワーソフトでの再生	29
5 削除する／保護する	31
5.1 ファイルの削除	31
5.2 ファイルの保護／保護解除	32
6 設定を変更する	33
6.1 動画モードメニュー	33
6.2 静止画メニュー	35
6.3 共通設定メニュー	36
7 キー割当て	40
8 故障かなと思ったら	41
8.1 電源がオンにならない	41
8.2 録画を開始しない	41
8.3 キーが反応しない、動作がおかしい	41
8.4 メモリーエラーが出る	41
8.5 常時録画でビデオが保存されていない	41
8.6 録画した映像がぼやけている	41
8.7 信号待ちのときに常時録画が停止して しまう	41
8.8 地上デジタル放送に影響がでる	41
8.9 パソコンで映像が再生できない。また はスムーズに再生できない	41
8.10 日時がリセットされてしまう	41
8.11 LCD 画面がしばらくすると消えてしま う	42
9 仕様	43

8 故障かなと思ったら

8.1 電源がオンにならない

- シガープラグコードは本製品付属のものですか？
- シガープラグコードは正しく本製品とカーシガーソケットに接続されていますか？
- カーシガーソケットのヒューズが切れていませんか？（車側のヒューズを確認してください。）
- シガープラグコードのヒューズが切れていませんか？（シガープラグの LED は点灯していますか？）

8.2 録画を開始しない

- 電源は供給されていますか？
- マイクロ SD カードは正しく挿入されていますか？
- マイクロ SD カードに十分な空き容量があるか確認してください。
- SDHC 規格に適合した Class6 または Class10 の高速マイクロ SD カードを使用してください。
- 手動で保護されたファイルがマイクロ SD カード容量に達すると録画を行えません。手動で保護を解除もしくはファイルを削除してください。
- マイクロ SD カードをフォーマットしてください。

8.3 キーが反応しない、動作がおかしい

- 本体をリセットしてください。（「リセット」キーを押してください。）
- マイクロ SD カードに不良セクタが発生している、または速度が遅いマイクロ SD カードを使用していると動作が止まる場合があります。一度マイクロ SD カードを PC 上でフルフォーマットするか、転送速度の速いマイクロ SD カードをご使用ください。

8.4 メモリーエラーが出る

- SDHC 規格に適合した Class6 または Class10 の高速マイクロ SD カードを使用してください。
- 使用できるメモリーサイズは 64GB までです。メモリーサイズをご確認ください。
- マイクロ SD カードをフォーマットしてください。（必ず本製品でフォーマットしてください。）

8.5 常時録画でビデオが保存されていない

- ループ録画より 16GB のマイクロ SD カードでは連続撮影約 60 分で上書きされます。
- G センサー感度が高に設定されていませんか？ G センサーが衝撃を検出するとファイルを保護するため、緊急フォルダーに保存されます。緊急フォルダー内のファイルを確認してください。また不要な保護ファイルは定期的に消去してください。

8.6 録画した映像がぼやけている

- レンズが汚れや、指紋が付いていないか確認し、汚れていたら柔らかい布でふきとってください。
- 車のウィンドウが汚れていないか、またはワイパーの可動範囲外に本製品が取り付けられていないか確認してください。

8.7 信号待ちのときに常時録画が停止してしまう

- 動体検出がオンになっていませんか？移動時は動体検出をオフにしてください。

8.8 地上デジタル放送に影響がでる

- 取付け位置を地デジアンテナからなるべく離してください。

8.9 パソコンで映像が再生できない。またはスムーズに再生できない

- ご使用のパソコンが Quick Time 形式のビデオを再生できる環境であるかご確認ください。動画再生ソフトがインストールされていない場合は、インストールしてご利用ください。

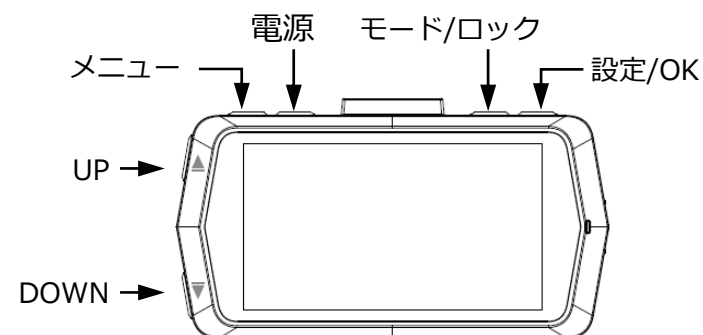
8.10 日時がリセットされてしまう

- 長期間ご使用されなかった場合など、内蔵バッテリーが空になり日時がリセットされることがあります。電源を供給して再度設定してください。

7 キー割当て

キー モード	キー割当て					
	メニュー	電源*	モード/ ロック	設定/OK	UP	DOWN
■動画モード						
録画中	写真撮影 (スナップ)	GPS ステータス表示/ 非表示	ファイル保護/ 保護解除	録画停止 長押しで写 真撮影(スナ ップ)	-	LCD画面オフ (いずれかの キーでオン)
停止中	メニュー 表示/非表示	GPS ステータス表示/ 非表示	モード 切換え	マニュアル 録画開始	長押しで動 体検出 オン/オフ	LCD画面オフ (いずれかの キーでオン)
■静止画モード						
カメラモード	メニュー 表示/非表示	-	モード 切換え	写真撮影(シ ャッターボ タン)	-	-
■動画再生モード						
サムネイル 表示	メニュー 表示/非表示	-	モード 切換え	1画面表示 動画再生/ 一時停止	前のファイ ルに移動	次のファイ ルに移動
1画面表示 (動画)	メニュー 表示/非表示	-	サムネイル に戻る	動画再生/ 一時停止	前のファイ ルに移動/ 再生中は早 戻し	次のファイ ルに移動/ 再生中は早 送り
■静止画再生モード						
サムネイル 表示	メニュー 表示/非表示	-	モード 切換え	1画面表示	前のファイ ルに移動	次のファイ ルに移動
1画面表示 (写真)	メニュー 表示/非表示	-	サムネイル に戻る	-	前のファイ ルに移動	次のファイ ルに移動
■メニュー						
メニュー設定	メニュー 表示/非表示	-	各モードメ ニュー切換え	メニュー 項目の決定	上方向に 移動	下方向に 移動

※ 「電源」キーは状態にかかわらず、2秒長押しで電源オフ。

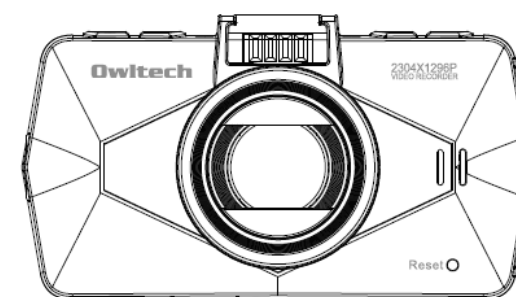


1 準備

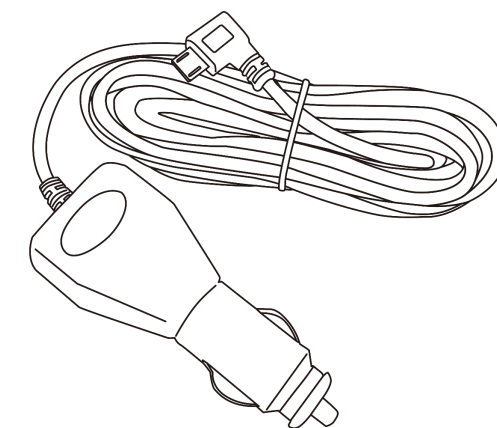
1.1 パッケージ内容

- 本体
- シガープラグコード (約 4m)
- GPS 内蔵ブラケット
- マイクロ SD カード (16GB)
- 取扱説明書兼保証書 (本説明書)

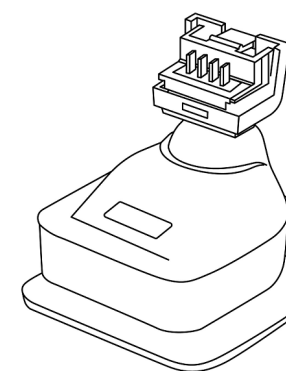
粘着テープ等の消耗品は保証対象外となります。



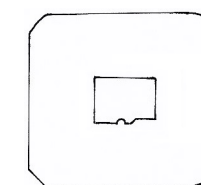
本体



シガープラグコード



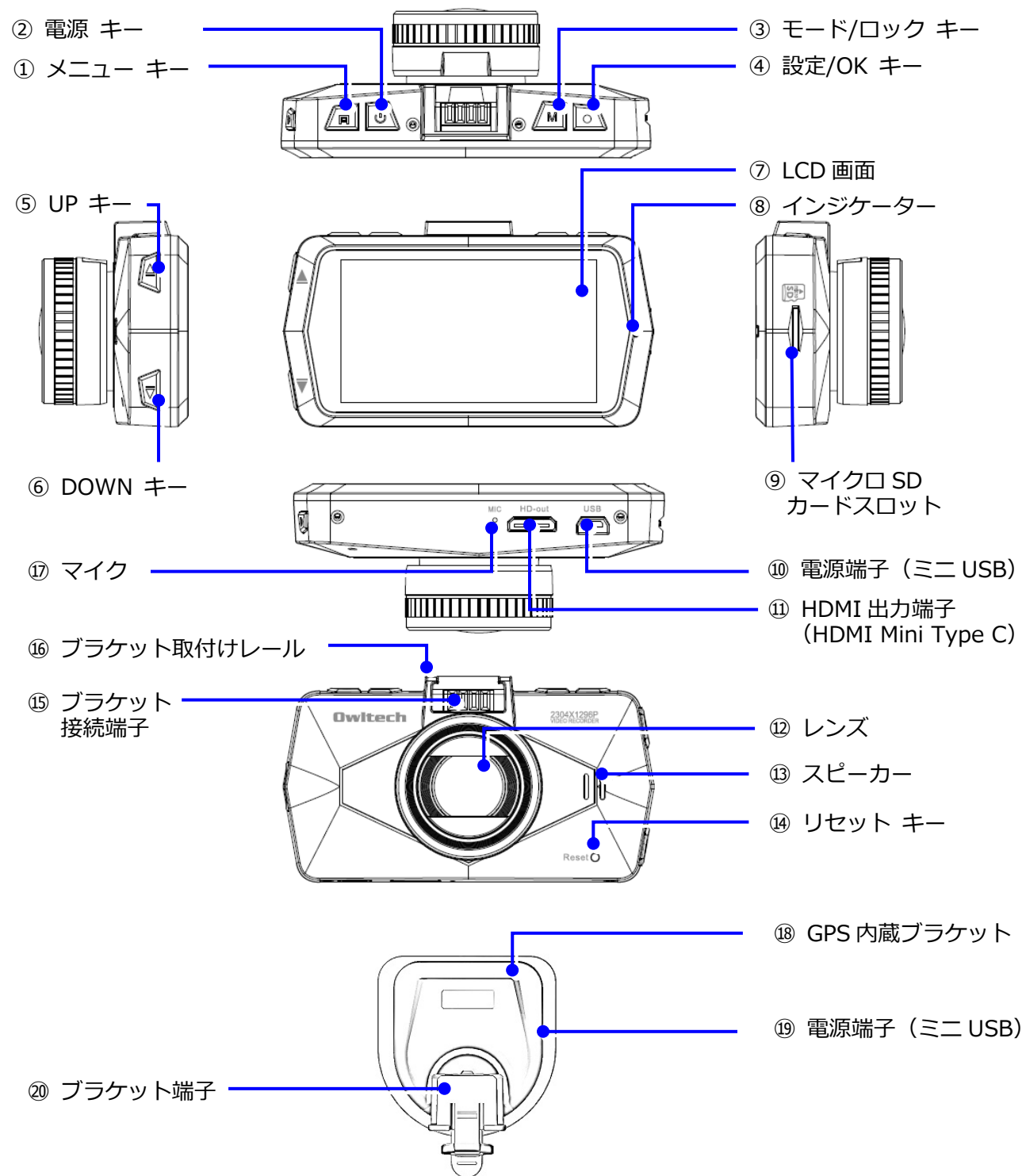
GPS 内蔵ブラケット



マイクロ SD カード

⚠ マイクロ SD カードは、容量 64GB までの SDHC 規格に適合した Class10 以上の高速 SD カードを使用してください。

1.2 各部の名称



●タイムゾーン【初期設定：GMT +9:00】

使用する地域のタイムゾーンを設定します。日本は GMT +9:00 に設定します。
GMT -12~GMT+13 の範囲でタイムゾーンを選択できます。

各地域	日本	各地域
GMT -12:00 ~	GMT +9:00	~GMT +13:00

●設定の初期化

本製品の設定内容を初期状態に戻します。(データは削除されません。)

いいえ	初期設定に戻しません。
はい	初期設定に戻します。

●バージョン

現在のファームウェアのバージョンを表示します。

●無操作時オート録画【初期設定：5分】

録画中以外の状態で無操作の状態が指定時間続くと、自動的に録画モードに切り換り録画を開始します。

オフ	自動的に録画を開始しません。
1分	無操作状態が1分続くと録画を開始します。
5分	無操作状態が5分続くと録画を開始します。

●Gセンサー感度【初期設定：中】

衝突事故などの衝撃を検出してファイルを保護します。保護されたファイルはその後の常時録画（ループ録画）では上書きされません。

オフ	衝撃を検出しません。
高	軽微な衝撃でも検出します。
中	中規模の衝撃が起こると検出します。
低	大きな衝撃が起こると検出します。

⚠ 検出される度合いは車両や取付け位置によって変わります。事前にテストを行い、ご希望の感度を設定してください。

●駐車監視【初期設定：オフ】

駐車中で内蔵バッテリー動作時に振動を検出すると録画を行います。

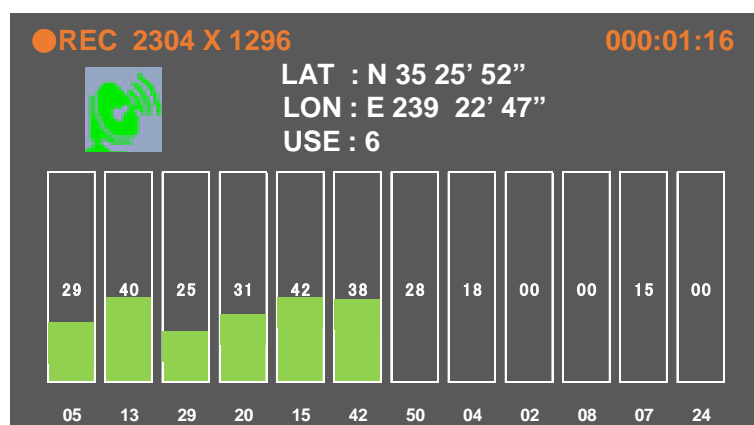
オフ	振動検出録画を行いません。
高	軽微な振動でも検出します。
中	中規模の振動が起こると検出します。
低	大きな振動が起こると検出します。

⚠ 本設定は、振動検出録画を行うための設定項目です。

⚠ 検出される度合いは車両や取付け位置によって変わります。事前にテストを行い、ご希望の感度を設定してください。

●GPSステータス

GPSの受信状態を表示します。



⚠ GPS情報は立体駐車場など、受信できない環境では表示されません。また受信できる環境に移動しても、受信するまでに1分程度かかる場合があります。

1.3 各部の説明

(1) キーボタン

① メニュー キー	動画モードでは、録画停止中に押すと動画メニューが表示され、録画中に押すと写真撮影（スナップショット）を行います。その他のモードでは、そのモードのメニューを表示します。メニュー表示中に押すとメニューを終了します。
② 電源 キー	電源オフの状態ですら1回押すと本製品の電源がオンします。電源オンの状態で1回押すとGPSステータスが表示されます。2秒以上の長押しをすると電源がオフします。
③ モード/ロック キー	モードを切り換えます。録画停止中に「モード/ロック」キーを押す度に、「動画モード」→「静止画」→「動画再生」→「静止画再生」の順に切り換えます。動画撮影中はファイルの保護/保護解除を行います。メニュー表示中は、「動画モード」>「静止画」>「再生」>「メディアツール」>「共通設定」メニューが順次切り換わります。
④ 設定/OK キー	動画モードでは録画の開始/停止を行います。静止画モードでは写真撮影を行います。再生モードでは動画の再生/一時停止を行います。メニューでは選択項目を決定します。
⑤ UP キー	再生モードではファイルの選択を行います。メニューモードでは項目の選択を行います。動画モードの録画停止中に長押しすると動体検出機能が有効になります。再度長押しすると動体検出機能を無効にします。
⑥ DOWN キー	再生モードでは動画ファイルの選択を行います。メニューモードでは項目の選択を行います。録画中に押すとLCD画面をオフします。LCD画面をオンにする場合は、どのキーでもオンに戻ります。

(2) 外部端子

⑨ マイクロSDカードスロット	マイクロSDカード用のスロットです。本説明書の内容に従い正しく挿入してください。
⑩ 電源端子（ミニUSB）	電源端子です。専用のシガープラグコードを接続してください。
⑪ HDMI出力端子（HDMI Mini Type C）	HDMIケーブル（別売）を接続し、本製品の映像をTVやモニターに映すことができます。※接続中は録画できません。
⑭ リセット キー※1	本製品が応答しないなど動作異常が起こった場合は、リセットしてください。リセットする際は、爪楊枝などで「リセット」キーを軽く押ししてください。「リセット」キーを押すと再起動しますが、再起動しない場合は、電源を入れ直してください。
⑮ ブラケット接続端子	付属のGPS内蔵ブラケットを取り付けます。本説明書に従い、正しく装着してください。
⑯ ブラケット取付けレール	

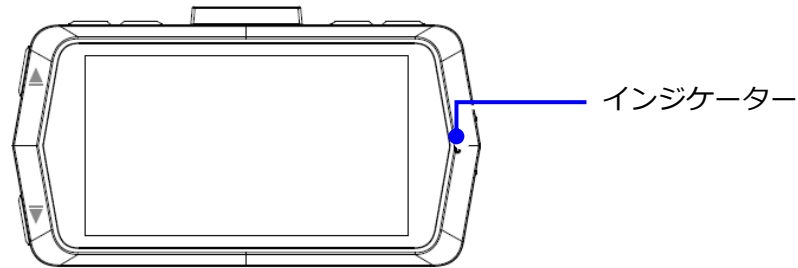
⚠ ※1：誤ってマイクなど他の穴に挿入しないでください。故障の原因になります。

(3) インジケータ

車両のエンジンを始動（ACC=オン）させると、自動的に本製品の電源が入り録画を開始します。

赤点灯	充電中であることを示します。
赤点灯/青点滅※	充電中であつ録画中であることを示します。
青点滅	充電完了状態であつ録画中であることを示します。
青点灯	充電完了状態であつ録画していない状態を示します。
消灯	電源がオフであることを示します。

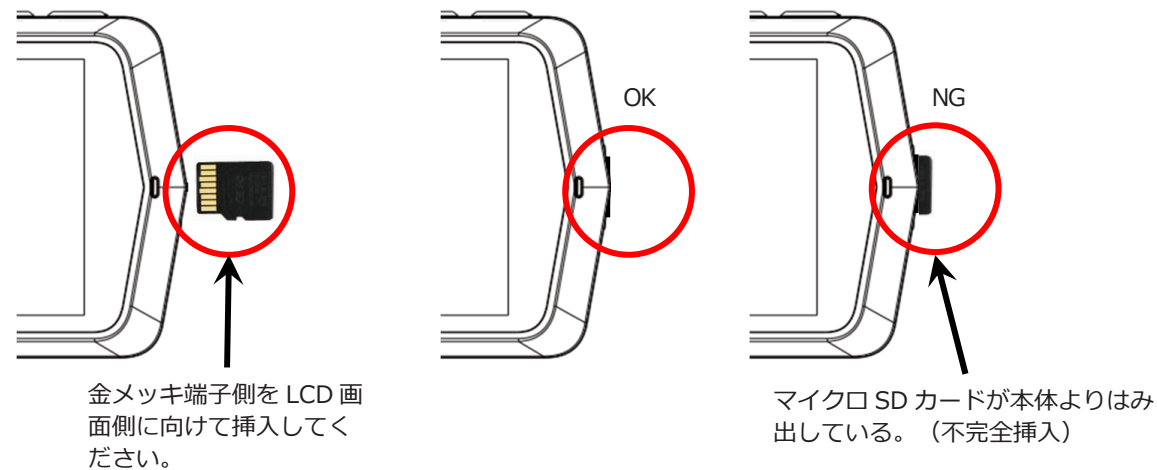
※インジケータ窓が一つのため、赤 LED、青 LED の色が混ざって見える場合があります。



1.4 マイクロ SD カードの取付け／取外し

⊖ マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ず本体の電源をオフにしてから行って下さい。マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。

- (1) マイクロ SD カードの金メッキ端子側を図の向きに合わせて、マイクロ SD カードスロットにまっすぐ挿入してください。マイクロ SD カードが本体よりはみ出している場合は完全に挿入されていません。再度挿入し直してください。



- (2) 取り外す場合は、電源がオフであることを確認し、マイクロ SD カードを更に押し込んでください。

- ⚠ 押し込むとマイクロ SD カードが飛び出て来ます。勢いよく飛び出す場合がありますので、紛失しないようご注意ください。
- ⚠ マイクロ SD カードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。また長時間記録を繰り返すと不良セクタが増え記録できなくなることがありますので、定期的にフォーマットを行ってください。
- ⚠ マイクロ SD カードは、SDHC 規格に適合した Class10 以上の高速 SD カードを使用してください。
- ⚠ 初めて使用するマイクロ SD カードの場合は、最初に本製品でフォーマットを行ってください。(16 ページ参照)

● ドライバ情報【初期設定：未設定】

自車のナンバープレート番号など、数字とアルファベットを最大 9 桁設定できます。設定した番号は記録した映像にスタンプとして重ねて記録でき、記録データの管理などに活用できます。「UP」キー、「DOWN」キーで文字/数字を選択、「設定/OK」キーで次の桁に移動します。確定後「OK」を押すと「共通設定」メニュー画面に戻ります。なおドライバ情報を設定すると自動的に映像にスタンプとして記録されます。

● 日付形式【初期設定：年月日】

日付/時刻の並び順を変更できます。

年月日	年/月/日 の順で表示されます。 例) 2018/03/07
月日年	月/日/年 の順で表示されます。 例) 03/07/2018
日月年	日/月/年 の順で表示されます。 例) 07/03/2018

● スタンプ【初期設定：日付+ロゴ】

撮影時に [日付/時刻], [ロゴ], [ドライバ情報] を映像に重ねて記録できます。

日付+ロゴ	日時とロゴを映像に重ねて記録します。
日付	日時を映像に重ねて記録します。
ロゴ	ロゴを映像に重ねて記録します。
オフ	スタンプの記録を行いません。

- ⚠ ドライバ情報は、値を設定すると自動的にスタンプとして記録します。スタンプの設定をオフにした場合でも記録します。

- ⚠ 一度記録されたスタンプは記録映像から消去することはできません。

● GPS スタンプ【初期設定：オン】

撮影時に GPS で受信した位置情報と速度情報を映像に重ねて記録できます。

オン	GPS スタンプを映像に重ねて記録します。
オフ	GPS スタンプの記録を行いません。

- ⚠ 一度記録されたスタンプは記録映像から消去することはできません。

● 言語【初期設定：日本語】

メニューの言語を選択できます。

English	メニューを英語で表示します。
簡体中文	メニューを中国語（簡体）で表示します。
繁体中文	メニューを中国語（繁体）で表示します。
日本語	メニューを日本語で表示します。

● LCD 省電力【初期設定：オフ】

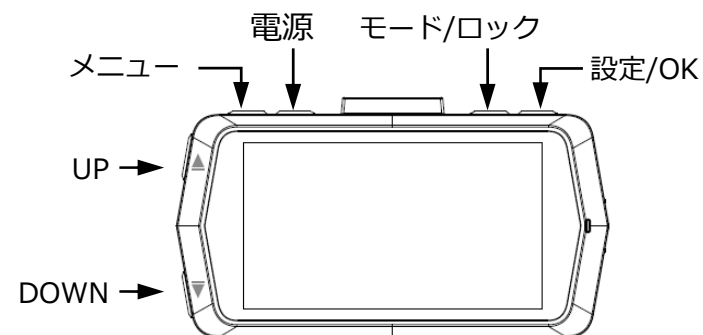
動画モードで指定時間の間無操作状態が続くと LCD 画面が省電力モードに切り換わります。録画中画面は消灯しますが、録画は継続されます。(録画中はインジケータが青色で点滅します。) LCD 省電力モードから通常画面に復帰させるには、いずれかのキーを押します。

オフ	LCD 省電力モードに切り換えません。
1 分	無操作状態が 1 分続くと LCD 省電力モードに切り換わります。
3 分	無操作状態が 3 分続くと LCD 省電力モードに切り換わります。

6.3 共通設定メニュー

共通の設定を変更できます。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「動画モード」メニューが表示されます。(録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「モード/ロック」キーを4回押すと「共通設定」メニューが表示されます。(メニューは、「モード/ロック」キーを押す度に次のように切り換ります。「動画モード」>「静止画」>「再生」>「メディアツール」>「共通設定」)



- (3) 「UP」キーと「DOWN」キーで変更する項目を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。変更する項目の詳細が表示されます。「UP」キー/「DOWN」キーで詳細項目を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。
- (4) 「共通設定」メニュー設定項目

● **ボリューム【初期設定：9】**

本機で再生する音量やビープ音の音量を調整できます。

音量を下げる ←						→ 音量を上げる			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

⚠ 録音される音量は変化しません。

● **日付/時刻**

本機の日時はGPSにより自動的に設定されるため、設定の必要がありません。但しGPSが受信できないような環境でお使いの場合は、『1.10 日時の設定』を参照して設定してください。

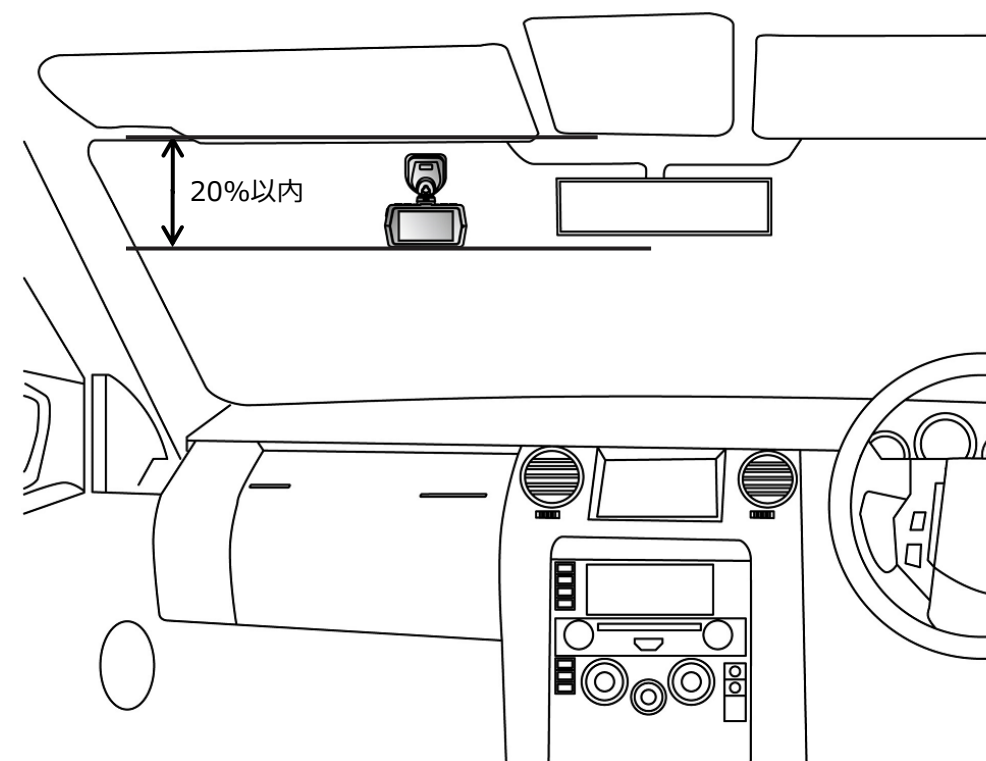
1.5 本体の取付け

- (1) 取付け位置

⚠ 本製品はフロントガラスに取り付けることを想定しています。

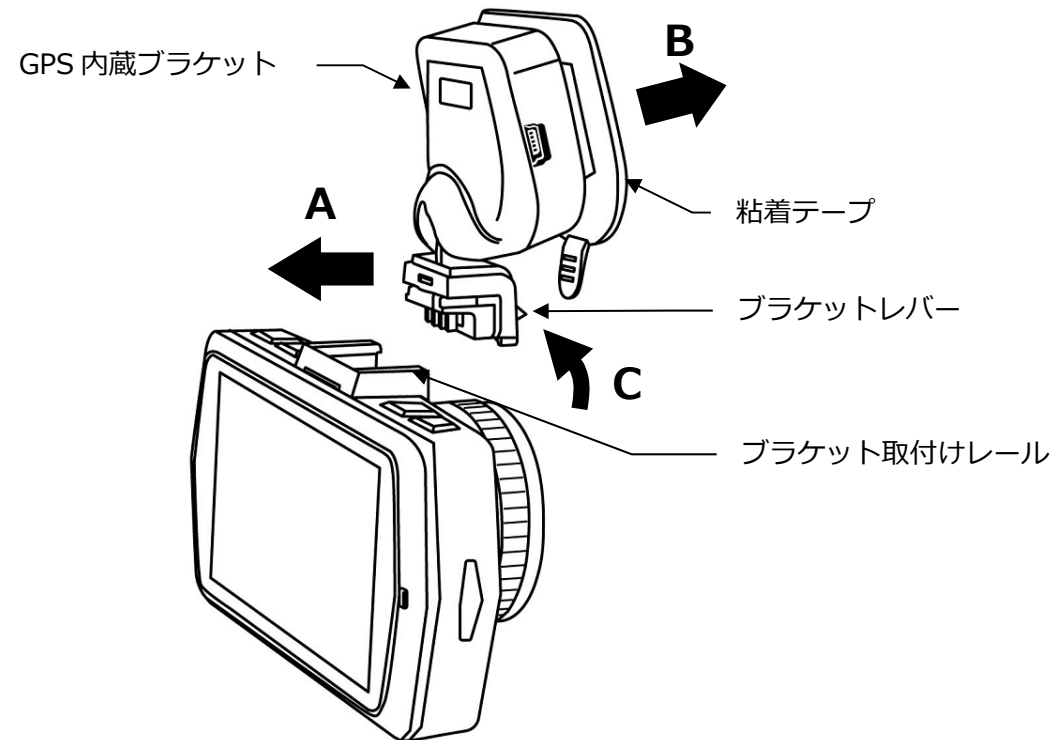
安全基準に適合させるために必ず下記の注意事項を厳守の上、取付けを行ってください。

- フロントガラスへの取付けに関しては、道路運送車両法に基づき設置場所がフロントガラス上部より20%以内に制限されています。視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ワイパーの可動範囲内に取り付けてください。可動範囲外に取り付けると、降雨時・降雪時に水滴・雪・汚れ等で映像が見つづらくなります。
- エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- 地デジ等のTVのアンテナの近くに設置しないでください。TVの受信感度が低下する場合があります。



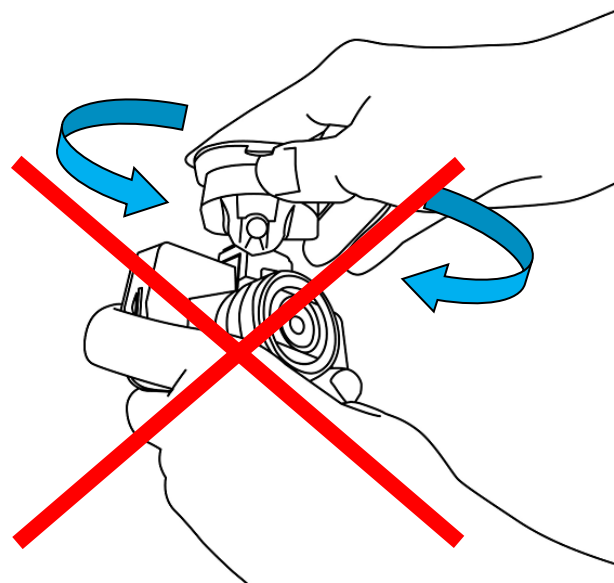
(2) 取付け方法

- 事前に取付け位置を決め、取付け場所のフロントガラスの油脂をクリーナーなどで取り除いてください。(油分や、汚れが付着したまま取り付けると取り付け強度が低下します。)
- レンズには保護フィルムが貼られています。使用時には剥がしてください。またレンズに手を触れないで下さい。万一汚れた場合は柔らかい布等で拭き取って下さい。
- 本体に GPS 内蔵ブラケットを取り付けてください。(A)



- 粘着テープの保護シートを外し、フロントガラスにしっかりと貼り付けてください。(B)

- ⚠ 取付け前に動作確認を行うことを推奨いたします。
- ⚠ 本体にブラケットを取り付ける際は、カチッと音がするまで挿入してください。取付けが不完全だと落下する恐れがあります。
- ⚠ GPS 内蔵ブラケットのジョイント部は、絶対に 1 回転以上回さないでください。故障の原因になります。

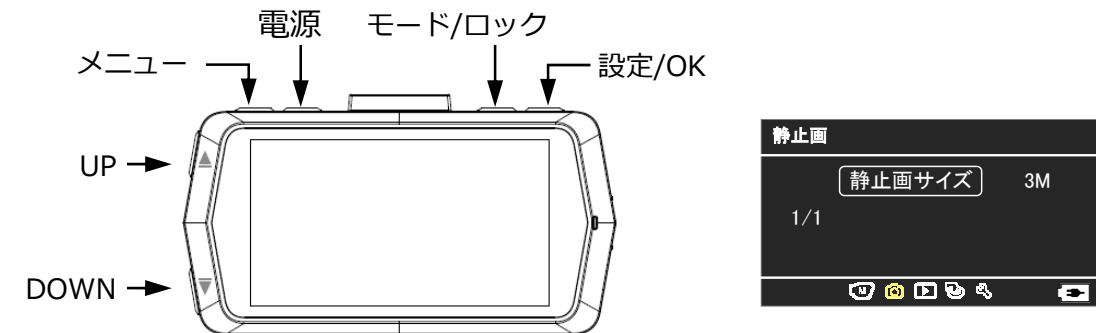


6.2 静止画メニュー

静止画モードに関わる設定を変更できます。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「動画モード」メニューが表示されます。(録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「モード/ロック」キーを 1 回押すと「静止画」メニューが表示されます。

(メニューは、「モード/ロック」キーを押す度に次のように切り換ります。
「動画モード」>「静止画」>「再生」>「メディアツール」>「共通設定」)



- (3) 「UP」キーと「DOWN」キーで変更する項目を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。変更する項目の詳細が表示されます。「UP」キー/「DOWN」キーで詳細項目を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。
- (4) 「静止画」メニュー設定項目

● 静止画サイズ

静止画の記録サイズを設定します。

3M	3M (2048 × 1536) ピクセル
1.2M	1.2M (1280 × 960) ピクセル

●露出【初期設定：0】

光量を調整して好みの露出で録画します。

-2～+2 の範囲で露出を調整できます。

暗くしたい時 ←	標準	→ 明るくしたい時
-2.0 ~ -1/3	0	+1/3 ~ +2.0

●WDR【初期設定：オン】

WDR をオンにすることで、逆光やトンネルの出入口など、明暗が強い場合に画像補正を行い、鮮明な画像を録画します。

オフ	WDR をオフにします。
オン	WDR をオンにします。

●動体検出【初期設定：オフ】

画面範囲内で物体が動いたときに自動で録画を開始します。

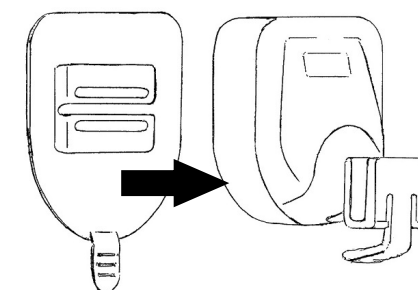
オフ	動体検出録画を行いません。
オン	物体が動くと録画を開始します。

⊙ 駐車中を想定しています。移動中は必ずオフに設定してください。

⚠ 本機能はメニューには表示されません。操作方法は、2.8 動体検出録画 を参照してください。

(3) 取外し方法

- ブラケットのレバーを (C) の方向に押し上げたまま、本体を (A) の方向にスライドさせると取り外しができます。
- また下図のようにブラケットを矢印の方向にスライドすることでも取り外すことができます。

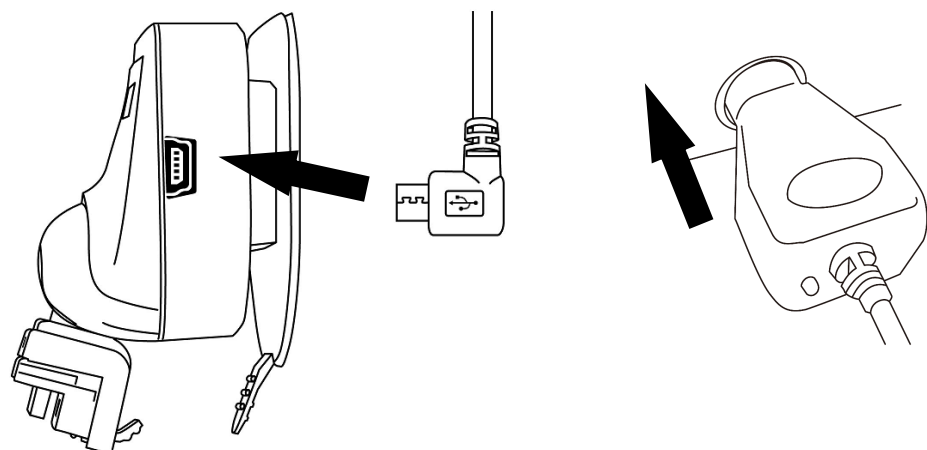


1.6 シガープラグコードの接続と配線

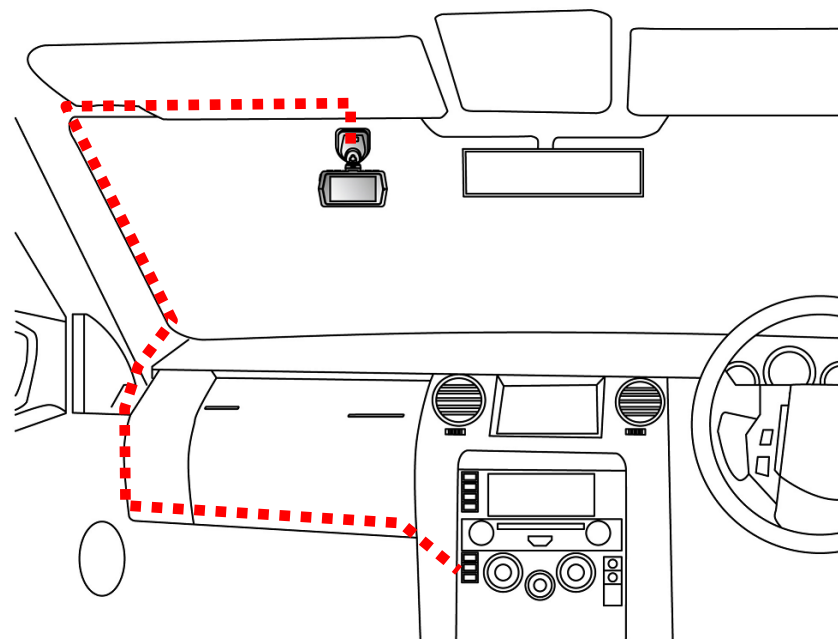
(1) 付属のシガープラグコードを GPS 内蔵ブラケットの電源端子（ミニ USB）と、車両のシガーソケット（またはアクセサリソケット）に挿入してください。

⚠ シガープラグコードは必ず付属のコードを使用してください。他のコードを使用すると故障の原因になることがあります。

⚠ シガープラグコードは必ず GPS 内蔵ブラケットの電源端子に接続してください。本体の電源端子に接続すると GPS が動作しません。



(2) コードを運転の妨げにならないように配線してください。



⚠ エアバッグの動作の妨げや、運転の妨げにならないように十分注意して配線してください。

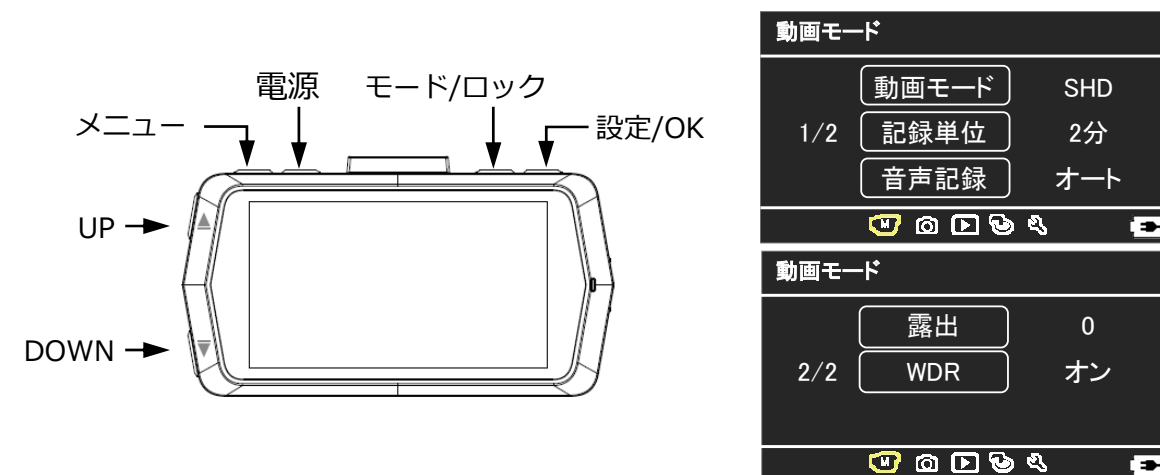
⚠ コードを配線する前に、本製品の動作確認を行うことを推奨いたします。

6 設定を変更する

6.1 動画モードメニュー

動画モードに関わる設定を変更できます。

(1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「動画モード」メニューが表示されます。（録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。）



(2) 「UP」キーと「DOWN」キーで変更する項目を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。

(3) 変更する項目の詳細が表示されます。「UP」キー/「DOWN」キーで詳細項目を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。

(4) 「動画モード」メニュー設定項目

● 動画モード【初期設定：SHD】

動画の解像度を設定します。

SHD	2304 x 1296 (Super HD), 27.5fps で記録します。
FHD	1920 x 1080 (Full HD), 27.5fps で記録します。
HD	1280 x 720 (HD), 27.5fps で記録します。

● 記録単位【初期設定：2分】

録画時間単位を設定します。1 ファイル毎に設定した時間で録画されます。マイクロ SD カードの容量が一杯になると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。

1分	1分単位のループ録画を行います。
2分	2分単位のループ録画を行います。
3分	3分単位のループ録画を行います。
5分	5分単位のループ録画を行います。

● 音声記録【初期設定：オート】

録画と同時に音声を録音することができます。オートに設定すると、常時録画では音声録音を行わず、衝撃を検出すると自動的に音声録音を行います。

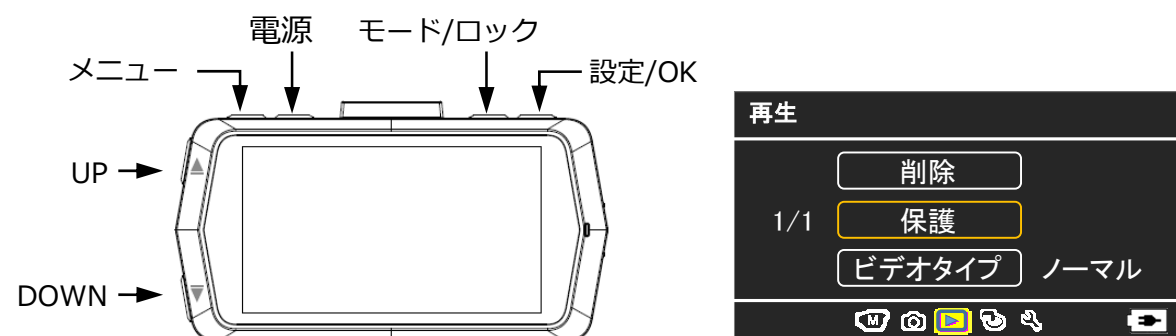
オン	録画中は常に音声録音を行います。
オフ	録画中は常に音声録音を行いません。
オート	常時録画では音声録音を行わず、衝撃を検出すると自動的に音声録音を行います。

5.2 ファイルの保護／保護解除

録画されたファイルを手動で保護することができます。保護されたファイルを削除する場合は、保護を解除する必要があります。

ファイルの保護／保護解除は、再生メニューから行うことができます。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「動画」メニューが表示されます。(録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「モード/ロック」キーを3回押すと「再生」メニューが表示されます。
(メニューは、「モード/ロック」キーを押す度に次のように切り換ります。
「動画モード」>「静止画」>「再生」>「メディアツール」>「共通設定」)




- (3) 「保護」前に「ビデオタイプ」で保護したいフォルダーを選んでください
- (4) 「UP」キーと「DOWN」キーで「保護」を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。
- (5) 項目の詳細が表示されます。「UP」キー/「DOWN」キーで詳細項目を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。

1 ファイル毎に保護または保護解除するか、全てのファイルを保護または保護解除します。

1つ保護	選択中のファイルを保護します。
1つ保護解除	選択中のファイルの保護を解除します。
全て保護	全てのファイルを保護します。
全て保護解除	全てのファイルの保護を解除します。

- 「1つ保護」と「1つ保護解除」の場合は、最初に指定したフォルダーの動画サムネイル画面が表示されます。この状態で「モード/ロック」キーを押すと静止画サムネイル画面が表示されます。
- 「全て保護」と「全て保護解除」の場合は、「ビデオファイル」と「画像ファイル」の選択をしてください。ビデオファイルは選択したフォルダーを保護します。

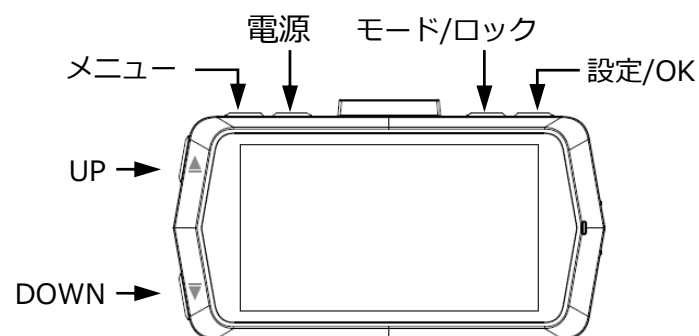
- (6) 保護されたファイルには「カギ アイコン」が付いて、保護されている状態であることを示します。

1.7 電源と内蔵バッテリーについて

- (1) 車両のエンジンを始動（ACC=オン）させると、自動的に本製品の電源が入り録画を開始します。同時に本体内蔵バッテリー（リチウムイオン電池）への充電が行われ、約2時間で満充電になります。
 - (2) 録画中に車両のエンジンを停止（ACC=オフ）するとバッテリー動作に切り換わり、約5秒後に自動的に録画を終了し、本製品の電源がオフします。
 - (3) エンジン停止中（ACC=オフ）でも、内蔵バッテリーによる駐車モード（振動検出モード）が利用できます。振動検出モードでは最大で約5日間（満充電時）監視を行うことが可能です。但し車両に振動が加わる場所など、使用環境によって動作時間は異なります。(録画可能時間は約15分間です。)
- ⊗ 駐車時などエンジン停止（ACC=オフ）時にシガーソケットに電源が供給される車を使用する場合は、エンジン停止（ACC=オフ）時には必ずシガープラグコードを抜いてください。

1.8 電源のオン/オフ

- (1) 車両のエンジンを始動（ACC=オン）させると、自動的に本製品の電源がオンになり録画を開始します。
- (2) 「電源」キーを2秒以上押し続けるとオフします。
- (3) 再度、「電源」キーを押すと電源がオンします。



- ⚠ 本製品を初めて使用する場合は内蔵バッテリーが充電されていない可能性があるため、使用時に1時間程度充電してください。充電されていない状態で電源をオフすると、設定値が初期状態に戻る場合があります。
- ⚠ エンジン停止中（ACC=オフ）時は、「電源」キーを押すと電源オン、2秒長押しでオフします。内蔵バッテリー動作の場合は、自動的に録画を開始しません。
- ⚠ マイクロSDカードが入っていない場合は、録画を行いません。

1.9 動作モード

本製品は「動画」、「静止画」、「動画再生」、「静止画再生」の4つの動作モードがあります。録画停止中に「モード/ロック」キーを押す度に、順番に切り換わります。（録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。）

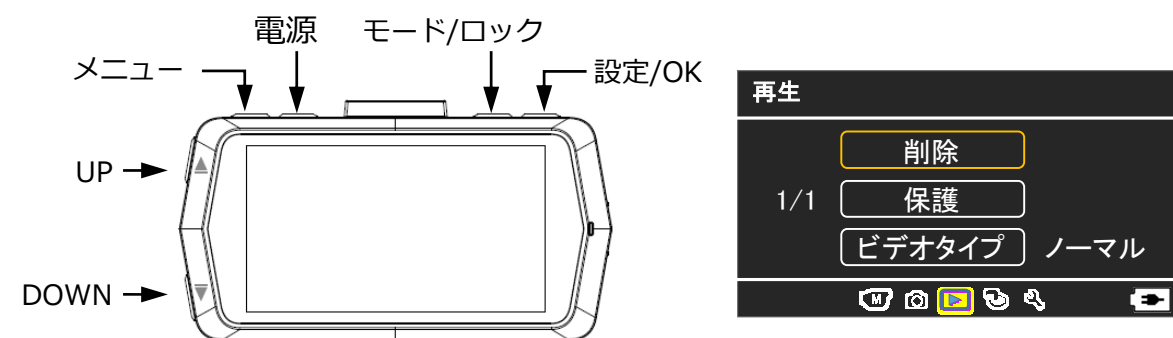


5 削除する/保護する

5.1 ファイルの削除

ファイルの削除は、再生メニューから行うことができます。保護されているファイルを削除する場合は、先にファイルの保護を解除する必要があります。『5.2 ファイルの保護/保護解除』（32ページ）を参照してください。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「動画」メニューが表示されます。（録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。）
- (2) 「モード/ロック」キーを3回押すと「再生」メニューが表示されます。（メニューは、「モード/ロック」キーを押す度に次のように切り換わります。「動画モード」>「静止画」>「再生」>「メディアツール」>「共通設定」）




- (3) 「削除」前に「ビデオタイプ」で削除したいフォルダーを選んでください。
- (4) 「UP」キーと「DOWN」キーで「削除」を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。
- (5) 項目の詳細が表示されます。「UP」キー/「DOWN」キーで詳細項目を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。

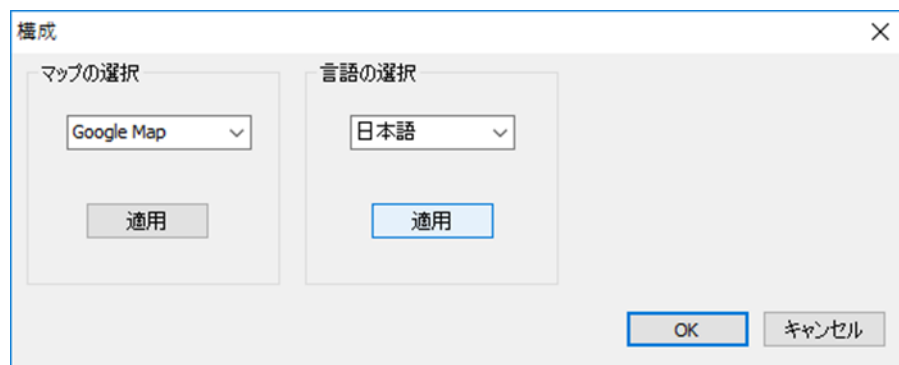
1 ファイル毎に削除するか、全てのファイルを削除するか選択できます。保護されているファイルを削除する場合は、保護を解除してから削除してください。

1つ削除	選択中のファイルを削除します。
全て削除	保護されていない全てのファイルを削除します。

- 「1つ削除」の場合は、最初に指定したフォルダーの動画サムネイル画面が表示されます。この状態で「モード/ロック」キーを押すと静止画サムネイル画面が表示されます。
- 「全て削除」の場合は、「ビデオファイル」と「画像ファイル」の選択をしてください。ビデオファイルは選択したフォルダーを削除します。

(2) 最初に『GVPlayer』の構成を設定します。同じ構成で使用する場合は、以降この操作は不要です。


- ショートカットまたはプログラムから本ソフトを起動します。画面左下の構成  をクリックし構成ウィンドウを開きます。
- マップの選択で Google Map に、言語の選択で日本語に選択してください。

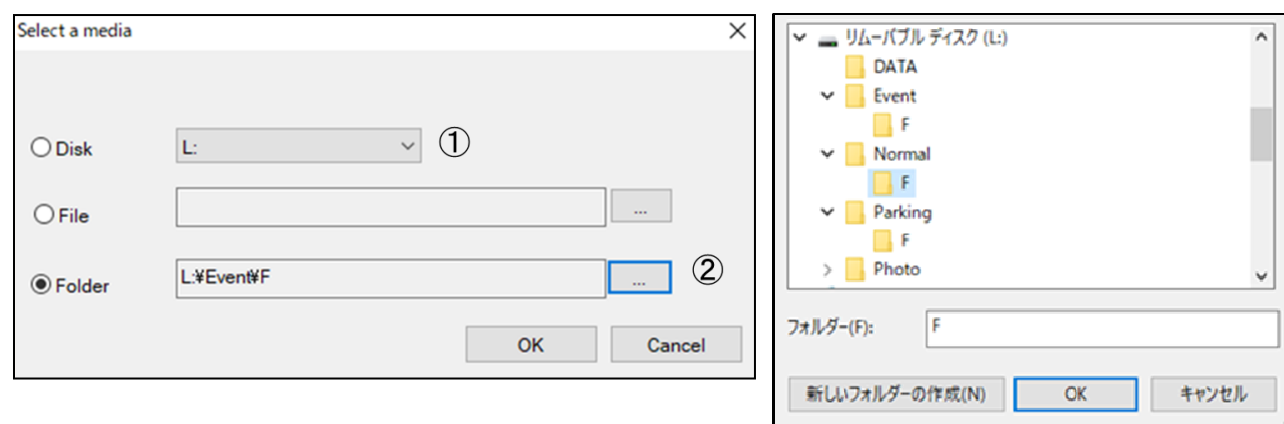


(3) 映像を保存したマイクロ SD カードを準備します。

- 本製品の電源がオフであることを確認し、マイクロ SD カードを取り出します。
- マイクロ SD カードを市販の SD カード変換アダプタにセットし、パソコンの SD カードスロットに挿入します。パソコンに SD カードスロットがない場合は、市販のカードリーダーなどを使用してください。

(4) マイクロ SD カード内に保存されたファイルを選択します。

- 画面左下のファイルの読み込み  をクリックし、メディア選択ウィンドウを開きます。
- ①でマイクロ SD カードが接続されているドライブを選択します。
- ②でマイクロ SD カード内に保存されたフォルダーを表示します。
- 再生するフォルダーを選択してください。フォルダー内全てのファイルが取り込まれます。



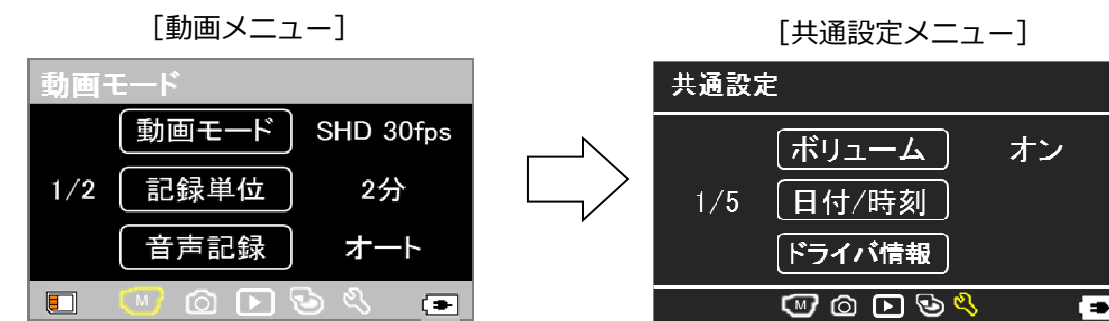
(5) ファイルリストのいずれか1つをダブルクリックすると再生を開始します。本ソフトの機能にしたい操作を行ってください。

- ⚠ 対応 OS は、Windows 7/8/8.1/10 32/64bit です。MAC OS には対応していません。
- ⚠ マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフしてから行って下さい。マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。
- ⚠ 静止画の再生には対応していません。『4.5 パソコンでの再生』を参照し再生してください。

1.10 日時の設定

日時は GPS により自動的に設定されるため、設定の必要がありません。但し GPS が受信できないような環境でお使いの場合は、以下の手順で設定を行ってください。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「動画」メニューが表示されます。(録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「モード/ロック」キーを4回押すと「共通設定」メニューが表示されます。(メニューは、「モード/ロック」キーを押す度に次のように切り換ります。「動画モード」>「静止画」>「再生」>「メディアツール」>「共通設定」)



(3) 「UP」キーと「DOWN」キーで「日付/時刻」を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。

(4) 年(西暦)を「UP」キーと「DOWN」キーで合わせ、「設定/OK」キーで決定します。

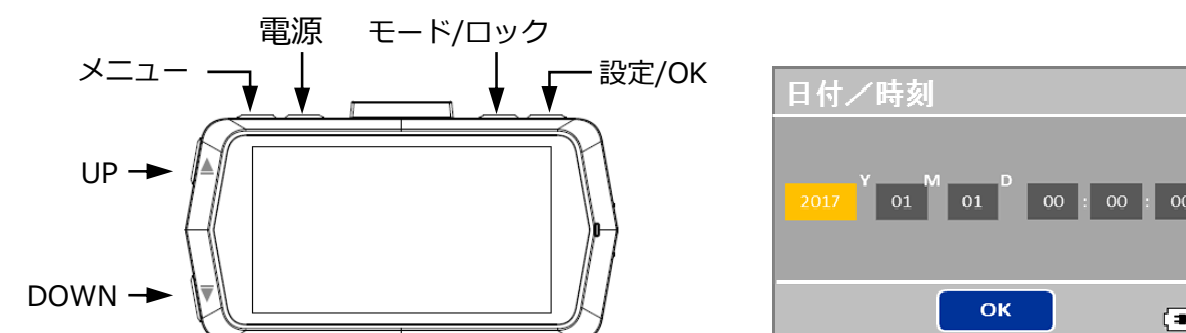
(5) 「設定/OK」キーを押す毎に年→月→日→時→分→秒に移動しますので、年と同様に月日と現在時刻を合わせ、OKに移動して、「設定/OK」キーを押し、「共通設定」メニューに戻ります。

(6) 日付/時刻の並び順を変更する場合は、「UP」キーと「DOWN」キーで「日付形式」を選択し、好みの表示形式に合わせます。

設定	表示説明
年月日	年/月/日 の順で表示されます。 例) 2018/03/07
月日年	月/日/年 の順で表示されます。 例) 03/07/2018
日月年	日/月/年 の順で表示されます。 例) 07/03/2018

(7) 「メニュー」キーを押すとメニュー画面を終了します。

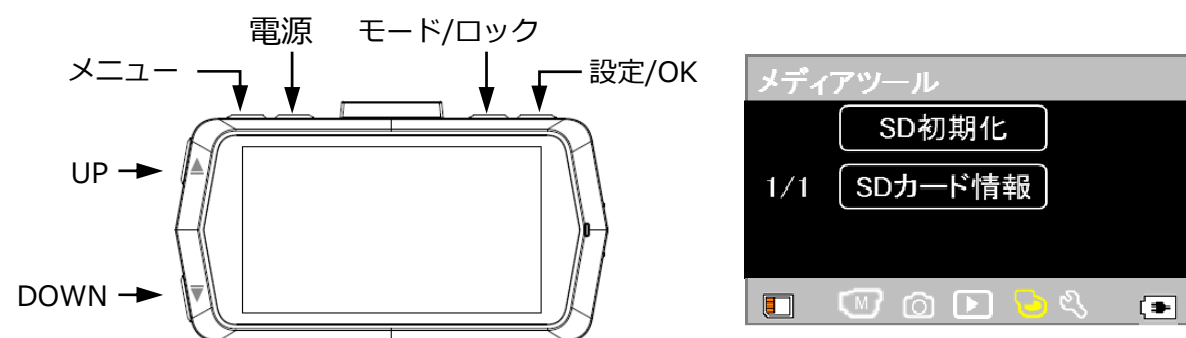
⚠ 長時間電源オフの状態が続くと内蔵バッテリーが切れ、日時設定が初期状態に戻ることがあります。その際は再度設定を行ってください。



1.11 マイクロSDカードのフォーマット

マイクロSDカードを初めて使用する場合は、カードのフォーマットが必要です。以下の手順に従って本製品上でフォーマットを行ってください。また品質を維持するために定期的にフォーマットを行ってください。フォーマットを行うと全てのデータは削除されますのでご注意ください。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すとメニューが表示されます。(録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「モード/ロック」キーを3回押すと「メディアツール」メニューが表示されます。
(メニューは、「モード/ロック」キーを押す度に次のように切り換ります。
「動画モード」>「静止画」>「再生」>「メディアツール」>「共通設定」)
- (3) 「UP」キーと「DOWN」キーで「SD初期化」を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。
- (4) “カードをフォーマットしますか？全てのデータが削除されます。”と表示されますので、「UP」キーと「DOWN」キーで「はい」を選択し、「設定/OK」キーを押すとフォーマットを実行します。
- (5) “フォーマットが完了しました”と表示されたらフォーマットは完了です。
- (6) 「メニュー」キーを押すとメニュー画面を終了します。



⚠ マイクロSDカードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行って下さい。マイクロSDカードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。

⚠ マイクロSDカードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。また長時間記録を繰り返すと不良セクタが増え記録できなくなることがありますので、一か月に一度を目安に定期的にフォーマットを行ってください。

4.6 ビューワーソフトでの再生

本製品で撮影した静止画を除く映像は、本製品専用のビューワーソフトで再生することができます。弊社 Web サイト <http://www.owltech.co.jp/> からビューワーソフト『GVPlayer』をダウンロードします。GvpSetup.msi をダブルクリックし画面上の指示に従い『GVPlayer』をインストールします。

(1) 本ビューワーソフトの機能



	画面表示	説明
①	再生画面	再生画面を表示します。
②	GPS 情報	受信 、方位 、車速 の GPS 情報を表示します。
③	地図画面	地図 と航空写真 を表示します。
④	ファイルリスト	ファイル情報を含むファイルリストを表示します。
⑤	ファイル上書き禁止の解除	保護されたファイル を解除します。
⑥	G センサー表示の切り替え	⑱G センサーチャートの表示のオン・オフをします。
⑦	地図表示の切り替え	③地図画面の表示・非表示を切り替えます。
⑧	ログデータの出力	選択したファイル情報をパソコン上で指定する場所に KML 形式でエクスポートします。
⑨	連続再生	ファイルの連続再生のオン・オフをします。
⑩	音量	音量レベルを調整します。
⑪	ミュート	音量をミュートまたはミュート解除します。
⑫	再生操作	は再生・一時停止、 は停止、 と は再生速度を変えます。
⑬	構成	地図と言語を選択します。
⑭	ファイルの削除	選択したファイルを削除します。
⑮	ファイルのコピー	選択したファイルをパソコンの指定場所にコピーします。
⑯	画面の保存	再生中画像を静止画としてパソコン上で指定する場所に保存します。
⑰	ファイルの読み込み	マイクロSDに保存したファイルを読み込みます。
⑱	ファイルのグループ化	<input type="checkbox"/> に <input checked="" type="checkbox"/> つけたファイルをまとめて保存します。
⑲	G センサーチャート	X (左右) Y (上下) Z (前後) 方向の G 値を表示します。
⑳	再生速度表示	再生速度を表示します。速度 1 の時は表示しません

4.5 パソコンでの再生

本製品で撮影した映像はマイクロ SD カードを介してパソコンで再生することができます。

- (1) 本製品の電源がオフであることを確認し、マイクロ SD カードを取り出します。
- (2) マイクロ SD カードを市販の SD カード変換アダプタにセットし、パソコンの SD カードスロットに挿入します。パソコンに SD カードスロットがない場合は、市販のカードリーダーなどを使用してください。
- (3) パソコンでマイクロ SD カードが接続されているドライブをクリックします。
- (4) 『SDHC』をダブルクリックします。
- (5) 5 種類のフォルダーが表示されます。各フォルダーは下記のとおりです。Event、Normal、Parking、Photo のフォルダーには F フォルダーが表示されます。録画・撮影されたデータは F フォルダーに保存されています。

SD SDHC (F:)	フォルダー名の説明	ファイル例
DATA	GPSとGセンサー情報のフォルダー	GPS_Info.txt GSensor_Info.txt
Event F	保護ファイル用の「緊急」フォルダー (緊急と振動検知の録画ファイル)	EMER170101-071616F.MOV EMER170101-121154F.MOV EMER170101-233542F.MOV
Normal F	常時録画用の「ノーマル」フォルダー	FILE170101-132703F.MOV FILE170101-132903F.MOV FILE170101-133103F.MOV
Parking F	動体検出用の「駐車場」フォルダー	PARK170101-103437F.MOV PARK170101-141910F.MOV PARK170101-195513F.MOV
Photo F	「静止画」フォルダー	IMG170101-094210F.JPG IMG170101-094218F.JPG IMG170101-151849F.JPG

● DATA フォルダーのファイル名

GPS 情報は「GPS_Info」、G センサー情報は「GSensor_Info」で表示されます。

● Event フォルダーのファイル名

上 4 桁 EMER が保護ファイル、続く 6 桁が撮影日、下 6 桁が撮影開始時間を表します。

● Normal フォルダーのファイル名

上 4 桁 FILE が常時録画ファイル、続く 6 桁が撮影日、下 6 桁が撮影開始時間を表します。

● Parking フォルダーのファイル名

上 4 桁 PARK が動体検知ファイル、続く 6 桁が撮影日、下 6 桁が撮影開始時間を表します。

● Photo フォルダーのファイル名

上 3 桁 IMG が静止画ファイル、続く 6 桁が撮影日、下 6 桁が撮影開始時間を表します。

- (6) 再生したいフォルダーを開いてください。
- (7) 再生したいファイルを選択し、パソコンの動画再生アプリで再生してください。

⚠ SD カード変換アダプタは付属していません。

⚠ マイクロ SD カードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行って下さい。マイクロ SD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。

2 録画する

2.1 動画モードについて

本製品には 6 つの動画モードがあります。

常時録画	エンジン始動(ACC=オン)の約 5 秒後から自動的に録画を開始し、エンジン停止(ACC=オフ)の約 5 秒後までの映像を常時録画します。内蔵バッテリーで起動した場合は、自動で常時録画は行いません。
緊急録画 (衝撃検出時)	常時録画やマニュアル録画中に、内蔵の G センサーが衝撃を検出すると、LCD 上にカギ アイコンが表示され、保護ファイルとして記録します。
保護録画 (手動)	録画中に「モード/ロック」キーを押すと LCD 上にカギ アイコンが表示され、保護ファイルとして記録します。
マニュアル録画	録画停止中に「設定/OK」キーを押すと録画を開始し、録画中に「設定/OK」キーを押すと録画を停止します。
動体検出録画 (駐車時)	本製品画面範囲内の動体の移動を検出すると録画が開始され、10 秒間動体を検出されなければ自動的に録画を停止します。 ※本機能は本体に電源が供給されている時のみ利用できます。
振動検出録画 (駐車時)	本モード設定時で目付バッテリー動作の状態、内蔵の振動センサーが振動を検出すると約 5 秒後から録画を開始し、振動が検出されなくなると約 10 秒後に待機状態になります。 ※本機能は内蔵バッテリー動作時のみ利用できます。

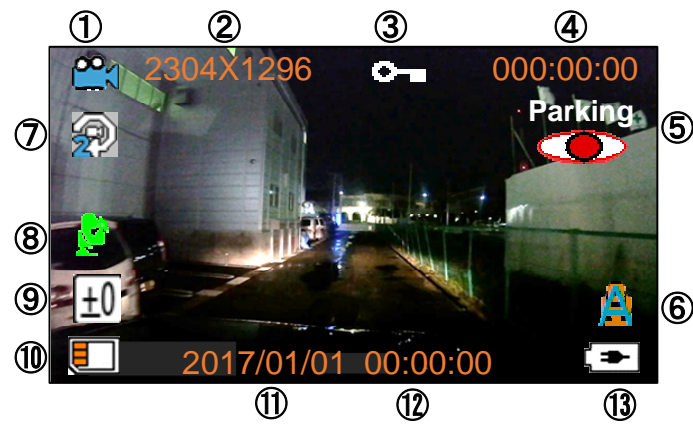
2.2 録画時間の目安

マイクロ SD カードの容量に対する録画時間の目安を示します。

	記録サイズ	16GB	32GB	64GB
SHD	2304 x 1296	約 120 分	約 240 分	約 480 分
FHD	1920 x 1080	約 120 分	約 240 分	約 480 分
HD	1280 x 720	約 240 分	約 480 分	約 960 分

⚠ 記録時間は目安であり保証するものではありません。常時録画は、上記時間(目安)の約 50%を超えると古いファイルから上書きし、ループ記録を行います。

2.3 動画モード画面表示



表示名	説明
① モード アイコン	動画モードであることを示します。 ●REC 撮影中は赤丸の点滅に替わります。 📷 録画停止中を示します。 CAP スナップショット
② 解像度 表示	撮影時の解像度を表示します。
③ カギ アイコン	録画中に G センサーが衝撃を検出した場合、または保護録画（手動）を行った場合に表示されます。
④ 録画時間（残量時間）	録画時間を示します。録画停止時は録画時間の残量を示します。
⑤ 動体検出 アイコン	動体検出モードがオンの場合表示されます。
⑥ マイク アイコン	音声録音の状態を示します。 🔊 音声録音がオートモードであることを示します。 🔊 音声録音がオンであることを示します。 🔊 音声録音がオフであることを示します。
⑦ 1 ファイル録画時間 アイコン	1 ファイルの録画時間を示します。 🕒 1分単位で録画することを示します。 🕒 2分単位で録画することを示します。 🕒 3分単位で録画することを示します。 🕒 5分単位で録画することを示します。
⑧ GPS アイコン	GPS の受信状態を示します。 良い ← 🟢 🟡 🟠 🟡 🟢 → 悪い
⑨ 露出 アイコン	露出の設定値を示します。
⑩ SD カード アイコン	SD カードの有無を示します。 📁 挿入されていることを示します。 📁❌ 挿入されていないことを示します。
⑪ 日付 表示	現在の日付を表示します。
⑫ 時刻 表示	現在の時刻を表示します。
⑬ バッテリーアイコン	内蔵バッテリーの状態を示します。 🔋 5V が供給されていることを示します。 🔋 充電満タンの状態を示します。 🔋 段階的にバッテリーの残量を示します。 🔋 残量が空の状態を示します。 🔋❌ バッテリーが無くなったことを示します。

4.4 テレビ（モニター）での再生

- 本製品は市販の HDMI ケーブルを使って、テレビやモニターに映像と音声を出力することができます。
- (1) 本製品の HDMI 端子 (HDMI ミニ) とテレビまたはモニターを市販の HDMI ケーブルで接続します。
 - (2) 本製品の電源を入れると、自動的にテレビ（モニター）に映像が映し出されます。
 - (3) 「モード/ロック」キーで「動画再生モード」、または「静止画再生モード」にしてください。
 - (4) 再生モードにすると、撮影されたファイル一覧が表示されます。
 - (5) 再生したいファイルを「UP」キー、「DOWN」キーで選択します。
 - (6) 「設定/OK」キーでファイルを再生します。動画の場合は「設定/OK」キーで再生/一時停止を行えます。

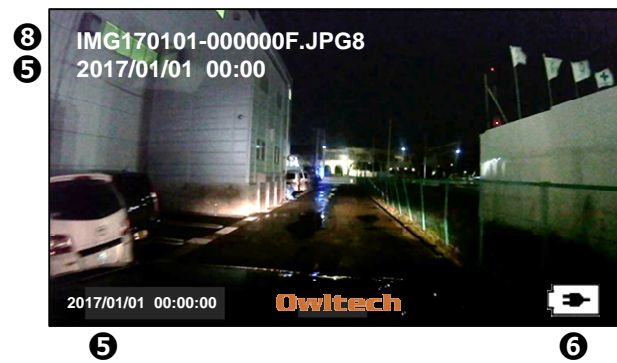
- ⚠️ テレビ（モニター）に出力中は、録画はできません。
- ⚠️ テレビ（モニター）に出力中は、本製品の LCD 画面は表示されません。（画面オフ）
- ⚠️ HDMI ケーブルは付属していません。

4.3 静止画再生モード表示画面

《サムネイル表示》



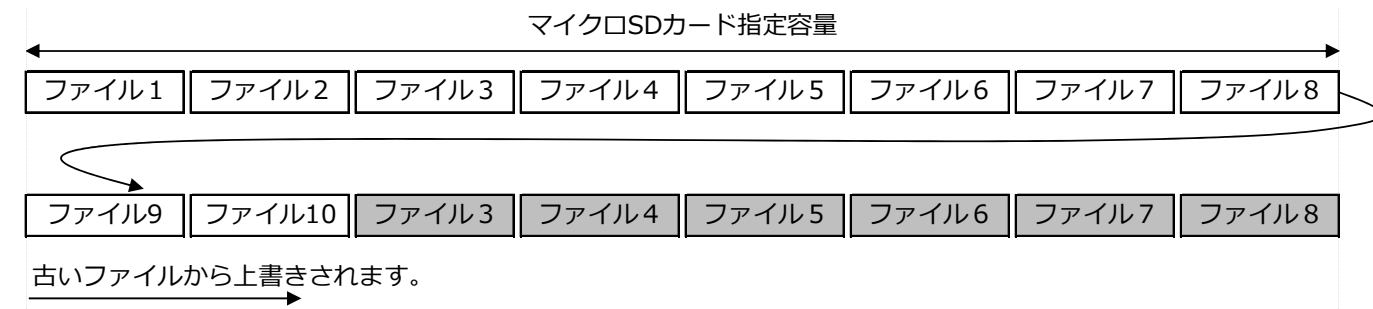
《1画面表示》



	表示名	説明
①	静止画 アイコン	静止画ファイルであることを示します。
②	ファイル選択	前のファイルに移動します。
③	サムネイルページ数	表示中ページ/全ページを表示します。
④	ファイル選択	後のファイルに移動します。
⑤	撮影日時表示	撮影した日時を示します。
⑥	バッテリーアイコン	内蔵バッテリーの状態を示します。 5Vが供給されていることを示します。 バッテリーが満充電であることを示します。 段階的にバッテリーの残量を示します。 バッテリーが無くなったことを示します。
⑦	再生ファイル選択	選択したファイルを赤枠で表示します。
⑧	ファイル名	ファイル名を表示します。

2.4 常時録画

- 車両のエンジンを始動(ACC=オン)させると本製品がオンになり、約5秒後に自動的に録画を開始し、エンジン停止(ACC=オフ)後、約5秒までの映像をマイクロSDカードに常時録画します。録画開始時には録画開始を音でお知らせします。
- 録画は、あらかじめ設定した録画単位で1ファイル毎にノーマルフォルダに記録されます。録画したファイルがマイクロSDカードの指定容量に達すると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。録画単位は動画モードのメニューから選択できます。(33ページ参照)
- 録画の解像度は、動画モードのメニューから選択できます。(33ページ参照)

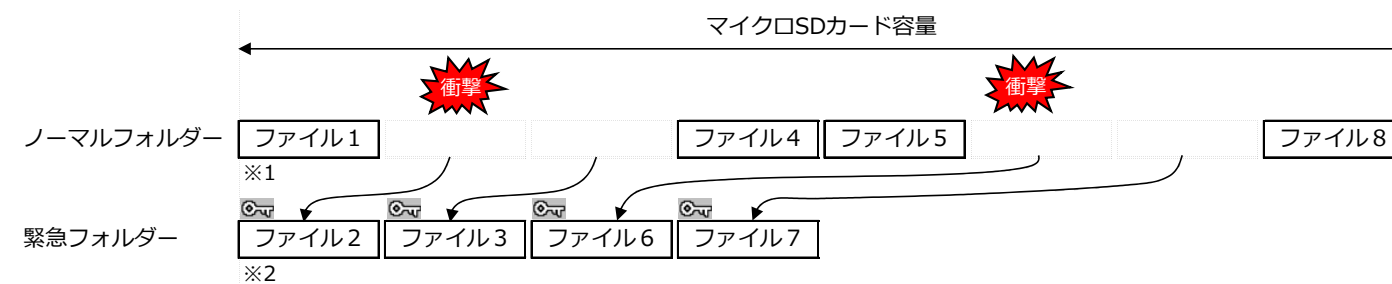


⚠ マイクロSDカードの指定容量まで録画すると、古いファイルから上書きされます。

2.5 緊急録画 (衝撃検出時)

- 常時録画中に本体に衝撃が加わり内蔵のGセンサーが検出すると、LCD画面上にカギアイコンが表示されます。
- カギアイコンが表示された状態で1ファイル録画を完了すると、そのファイルは保護ファイルとして緊急フォルダに記録され、その後の常時録画では上書きされなくなります。本製品では衝撃を検出したファイルと次のファイルの2つが緊急録画となり保護されます。
- 保護ファイルがマイクロSDカードの指定容量に達すると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。
- Gセンサーの感度は3段階から選択できます。動画モードのメニューから選択してください。(38ページ参照)

⚠ 保存したいファイルはこまめにPCなどへバックアップを行い、保護ファイルは定期的に削除してください。バックアップの方法は『4.5 パソコンでの再生』(28ページ)を参照してください。本体でのファイルの削除の方法は『5 削除する/保護する』(31ページ)を参照してください。





※1 ノーマルフォルダ内でファイルが一杯になったら、ノーマルフォルダ内の古いファイルから上書きされます。

※2 緊急フォルダ内でファイルが一杯になったら、緊急フォルダ内の古いファイルから上書きされます。

⚠ 図はイメージです。ファイルサイズやファイル数は実際の物と異なります。

2.6 保護録画（手動）

- 録画中に「モード/ロック」キーを押すと LCD 画面上にカギアイコンが表示されます。（再度「モード/ロック」キーを押すとカギアイコンは消えます。）
- LCD 画面上にカギアイコンが表示された状態で 2 ファイル分の録画を完了すると、そのファイルは保護ファイルとして緊急フォルダーに記録されます。



⚠ 保護録画で保護されたファイルが、マイクロ SD カードの容量の上限に達すると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。保存したいファイルはこまめに PC などへバックアップを行い、保護ファイルは定期的に削除してください。バックアップの方法は『4.5 パソコンでの再生』（28 ページ）を参照してください。本体でのファイルの削除の方法は『5 削除する／保護する』（31 ページ）を参照してください。

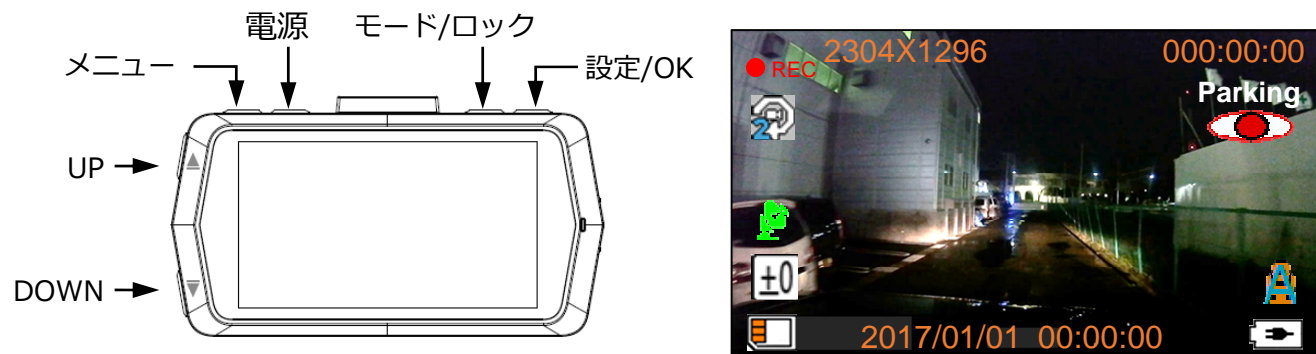
2.7 マニュアル録画

- 録画中に「設定/OK」キーを押すと録画を停止します。停止中に再度「設定/OK」キーを押すと録画を開始します。録画の条件及び動作は常時録画と同じです。

2.8 動体検出録画

⊖ 動体検出録画は、駐車時など本製品が固定された状態（動かない状態）で使用することを想定しています。走行時は必ず動体検出機能はオフにしてください。また動体検出録画は電源が供給されている状態（ACC=オン）のみ有効になります。本体に電源が供給されていない場合は動作しません。

- 録画停止中に「UP」キーを長押しすると、LCD 画面上に動体検出アイコンが表示され、動体検出機能が有効になります。（録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。）
- 本製品画面範囲内の動体の移動を検出すると録画が開始され、移動を検出している間は録画を継続し、10 秒間動体移動が検出されなければ、自動的に録画を停止します。（33 ページ参照）
- 動体検出機能をオフにする場合は、録画停止中に「UP」キーを長押しすることで、動体検出アイコンが消え、動体検出機能が無効になります。（録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。）



⚠ 本機能は電源オンの間は有効ですが、電源をオフすると自動的に無効になります。

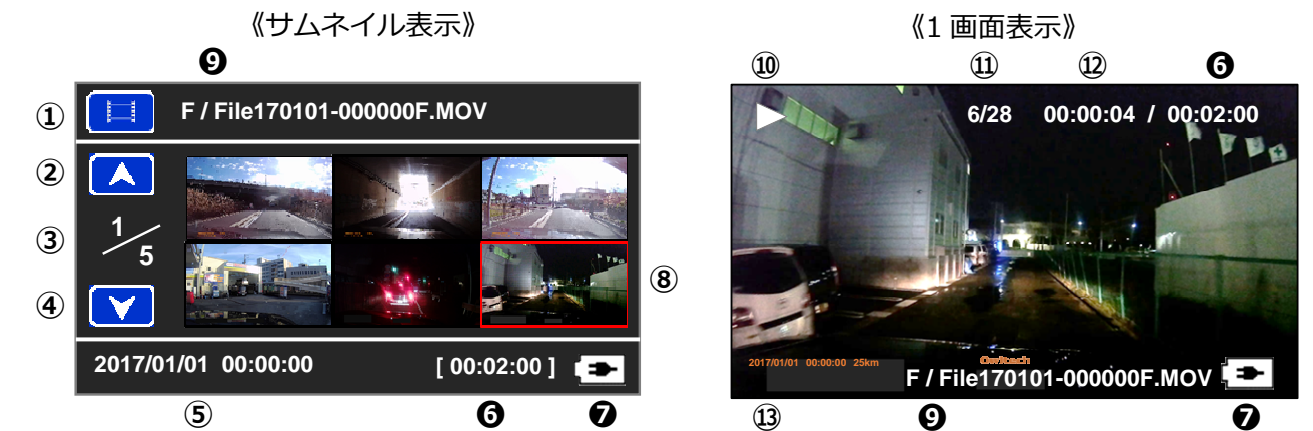
⚠ 動体検出録画で録画したファイルは「駐車場」フォルダーに格納されます。







4 再生する

4.1 本製品での再生

- 録画停止中に「モード/ロック」キーを 2 回押すと「動画再生モード」に、3 回押すと「静止画再生モード」に切り換わります。（録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。）
- 再生モードにすると、撮影されたファイル一覧が表示されます。
- 再生したいファイルを「UP」キー、「DOWN」キーで選択します。
- 「設定/OK」キーでファイルを再生します。動画の場合は「設定/OK」キーで再生/一時停止を行えます。

4.2 動画再生モード画面表示



	表示名	説明
①	動画 アイコン	動画ファイルであることを示します。
②	ファイル選択	前のファイルに移動します。
③	サムネイルページ数	表示中ページ/全ページを表示します。
④	ファイル選択	後のファイルに移動します。
⑤	録画日時表示	録画した日時を示します。
⑥	録画時間表示	再生中ファイルの録画時間を表示します。
⑦	バッテリーアイコン	内蔵バッテリーの状態を示します。  5V が供給されていることを示します。  バッテリーが満充電であることを示します。  段階的にバッテリーの残量を示します。  バッテリーが無くなったことを示します。
⑧	再生ファイル選択	選択したファイルを赤枠で表示します。
⑨	ファイル名	ファイル名を表示します。
⑩	再生/停止 アイコン	再生/停止を示します。  再生状態を示します。  停止状態を示します。
⑪	ファイル番号	再生中ファイル/全ファイル番号を表示します。
⑫	再生時間	再生時間を示します。
⑬	スタンプ表示	ファイルに記録されているスタンプ内容が表示されます。

3 写真を撮る

3.1 静止画モード

本製品には2つの静止画撮影モードがあります。

静止画撮影	静止画モードで静止画の撮影を行います。
スナップショット	動画モードで、動画録画中に同時に静止画を記録します。

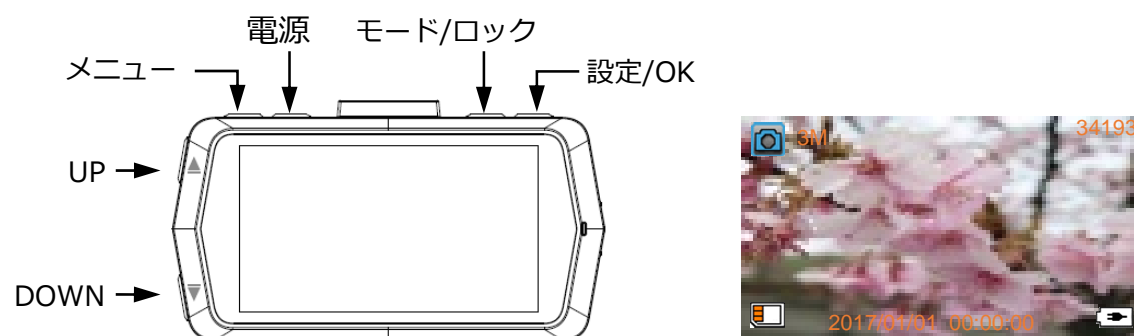
3.2 撮影枚数の目安

マイクロSDカードの容量に対する撮影枚数の目安を示します。

	記録サイズ	16GB	32GB	64GB
3M	2048 x 1536	約 3000 枚	約 6000 枚	約 12000 枚
1.2M	1280 x 960	約 8000 枚	約 16000 枚	約 32000 枚
スナップ ショット	2304 x 1296	約 3000 枚	約 6000 枚	約 12000 枚
	1020 x 1080 1280 x 720	約 8000 枚 約 10000 枚	約 16000 枚 約 20000 枚	約 32000 枚 約 40000 枚

3.3 静止画撮影

- 録画停止中に「モード/ロック」キーを押すと「静止画モード」に切り換わります。(録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。)
- 静止画モードでは、「設定/OK」キーがシャッターとなり静止画を撮影することができます。
- 静止画の解像度は、静止画モードのメニューから選択できます。



3.4 スナップショット

- 動画を録画中に「メニュー」キーを押すと、動画録画と同時にスナップショット写真を記録します。
- スナップショットの解像度は、動画モードの解像度で記録されます。

2.9 振動検出録画


⊖ 振動検出録画は、駐車時など本製品に振動が加わらない状態（動かない状態）で使用することを想定しています。また振動検出録画はエンジン停止(ACC=オフ)状態で、内蔵バッテリーでの動作時のみ有効になります。本体に電源が供給されている場合は動作しません。

- 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「動画」メニューが表示されます。(録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。)
- 「モード/ロック」キーを4回押すと「共通設定」メニューが表示されます。(メニューは、「モード/ロック」キーを押す度に次のように切り換わります。「動画モード」>「静止画」>「再生」>「メディアツール」>「共通設定」)
- 「UP」キーと「DOWN」キーで「駐車監視」を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。
- メニューから「高」「中」「低」のいずれかを選択してください。

オフ	振動検出録画を行いません。
低	大きな振動が起こると検出します。
中	中規模の振動が起こると検出します。
高	軽微な振動でも検出します。

- 「設定/OK」キーを押すと振動検出録画モードが設定されます。「メニュー」キーを押すとメニューを終了します。
- エンジン停止(ACC=オフ)すると、電源が内蔵バッテリーに切り換わり、振動検出録画が有効になります。
- 振動が検出されなければ、本機は電源オフ状態（スリープ状態）になり、振動を検出すると本機を起動します。約5秒後に録画を開始し振動を検出している間は録画を継続します。
- 10秒間振動が検出されなければ、自動的に録画を停止して電源オフ（スリープ状態）に戻ります。
- 本機能を有効にしておく、エンジンを始動(ACC=オン)すると常時録画を行い、エンジン停止(ACC=オフ)すると自動的に振動検出録画モードに切り換わります。



- ⚠ 振動検出録画モードは、内蔵バッテリーが満充電の場合は最大で5日程度スリープ状態を維持します。振動検出録画を実行した場合は、録画時間に合わせてバッテリー残量は低下します。
- ⚠ 本機能は緊急録画と同様、LCD画面上にカギアイコンが表示され、保護ファイルとして緊急フォルダーに記録されます。

2.10 プライバシーオート録音

プライバシーオート録音機能は、常時録画中は音声録音を行わず、衝撃を検出した場合のみ音声録音を行う機能です。衝撃を検出した時点から音声録音が始まり2ファイル録画完了まで録音されます。(ファイルは緊急フォルダーに入ります。) 次の録画では再び音声録音を行わない状態に戻ります。

⚠ 衝撃検出する前の音声は録音されません。音声録音中はLCD画面上にカギアイコンが表示されます。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「動画」メニューが表示されます。(録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「UP」キーと「DOWN」キーで「音声記録」を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。
- (3) 「オート」を選択することで本機能が有効になります。本機能を使用したくない場合は「オン」または「オフ」を選択してください。(初期設定はオートです。)

オン	録画中は常に音声録音を行います。
オフ	録画中は常に音声録音を行いません。
オート	常時録画では音声録音を行わず、衝撃を検出すると自動的に音声録音を行います。

- (4) 「メニュー」キーを押すとメニューを終了します。



2.11 無操作時オート録画

録画中以外の状態(録画停止中/カメラモード/再生モード/メニュー選択時)で、無操作の状態が設定時間続くと自動的に録画を開始します。メニュー設定中や再生モードのまま走行し、設定を戻し忘れても自動的に録画を開始することで、録り逃がしを防ぐことができます。自動で録画を開始するまでの時間と本機能のオン・オフは「共通設定」メニューより選択できます。

- (1) 録画停止中に「メニュー」キーを押すと「動画」メニューが表示されます。(録画中の場合は「設定/OK」キーを押して録画を停止してください。)
- (2) 「モード/ロック」キーを4回押すと「共通設定」メニューが表示されます。(メニューは、「モード/ロック」キーを押す度に次のように切り換ります。「動画モード」>「静止画」>「再生」>「メディアツール」>「共通設定」)
- (3) 「UP」キーと「DOWN」キーで「無操作時録画」を選択し、「設定/OK」キーで決定してください。
- (4) メニューから「オフ」「1分」「5分」のいずれかを選択してください。

オフ	自動的に録画を開始しません。
1分	無操作状態が1分続くと録画を開始します。
5分	無操作状態が5分続くと録画を開始します。

- (5) 「設定/OK」キーを押すと設定が有効になります。
- (6) 「メニュー」キーを押すとメニューを終了します。



- ⚠ 本機能は動画再生中も無操作状態であれば有効になり、設定時間になると再生を停止し自動的に録画を開始します。
- ⚠ 電源オフでバッテリー動作の場合は、本機能は働きません。
- ⚠ 電源オンで動体検出機能を有効にした場合、本機能が優先されます。電源オンで動体検出機能を有効にする場合は、本機能をオフでご利用ください。